

特設課程ガイド

2015

創価大学 教職キャリアセンター
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel.042-691-9331 Fax.042-691-9332
発行 2015年4月1日



教職課程
社会教育主事課程

はじめに

本学では、特設課程として「[教職課程](#)」「[社会教育主事課程](#)」を設置しております。

「[教職課程](#)」は、教員を志望する者が教育職員免許法にもとづき、教員免許状取得に必要な単位を修得するための課程です。

教員免許状は、将来、教育関係の仕事に就くときに非常に有効な資格ですが、現場での実習を伴う課程であり、安易に履修することができません。また、卒業に必要な単位以外に相当数の単位を修得しなければなりませんので、[1年次より計画的に学習することが求められます](#)。

「[社会教育主事課程](#)」は、将来、公民館や青少年施設等、社会教育関係の仕事に従事したい者が社会教育法にもとづき、社会教育主事資格取得に必要な単位を修得するための課程です。

各課程の内容については、この「[特設課程ガイド](#)」を熟読のうえ、慎重に手続きをすすめてください。

平成 27 年 4 月

教職キャリアセンター

CONTENTS

目次

教職課程

1	教員免許状について	2
2	教職課程の登録について	4
3	教職施設について	6
4	関門制度について	9
5	介護等体験について	10
6	教育実習について	12
7	特別支援教諭免許の教育実習について	15
8	学科別各課程科目一覧	17
9	学校インターンシップについて	54
10	教員採用試験について	56
11	教員免許状の申請について	58
12	大学院専修免許状について	60

社会教育主事課程

1	社会教育主事課程について	68
2	社会教育主事課程科目一覧	69

教 職 課 程

教員となるためには、教育職員免許法にもとづき、教育職員免許状（以下、「教員免許状」）を取得しなければなりません。教員免許状は、文部科学省より課程認定を受けた大学で所定の単位を修得した者に対し、各都道府県の教育委員会が授与するものです。

あくまで、教職課程は、教員の養成を前提としており、教職に就く意志がある者を対象に開設しております。教職に就く意志がなく、教員免許状さえ取得できればいいというような安易な姿勢で取り組むことは望ましくありません。教職課程の登録手続きは、将来の志望を十分に検討したうえで行き、積極的かつ真摯な姿勢で取り組んでください。

1 教員免許状について

(1) 本学で取得できる教員免許状

●本学で取得できる免許状の種類と教科

(表 I -1)

学部	学科	幼稚園 1種	小学校 1種	中学校 1種	高等学校 1種	特別支援
経済	経済	—	—	社会	地理歴史 公民	—
法	法律	—	—	社会	地理歴史 公民	—
経営	経営	—	—	社会	地理歴史 公民	—
文	人間	—	—	社会 国語 英語 中国語 ロシア語	地理歴史 公民 国語 英語 中国語 ロシア語	—
教育	教育			社会	地理歴史 公民	—
	児童教育	●	●			●
理工	情報システム工	—	—	数学	数学 情報	—
	共生創造理工	—	—	理科	理科	—

(2) 教員免許状取得の方法

教員免許状の取得には、教育職員免許法第5条別表第1に定める科目・単位にもとづいて本学の指定する科目を履修しなければなりません。

●教育職員免許法第5条別表第1

(表I-2)

法令最低修得単位表					
免許状の種類		基礎資格	教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
幼稚園	1種免許状	学士の学位を有すること	6	35	10
	2種免許状	学校教育法69条の2第7項に定める準学士の称号を有すること	4	27	—
	専修免許状	修士の学位を有すること	6	35	34
小学校	1種免許状	学士の学位を有すること	8	41	10
	2種免許状	学校教育法69条の2第7項に定める準学士の称号を有すること	4	31	2
	専修免許状	修士の学位を有すること	8	41	34
中学校	1種免許状	学士の学位を有すること	20	31	8
	2種免許状	学校教育法69条の2第7項に定める準学士の称号を有すること	10	21	4
	専修免許状	修士の学位を有すること	20	31	32
高等学校	1種免許状	学士の学位を有すること	20	23	16
	専修免許状	修士の学位を有すること	20	23	40

- ① はじめて教員免許状の取得を目指す皆さんは、上の表I-2（教育職員免許法第5条別表第1）にもとづいて単位を修得しなければなりません。
- ② 基礎資格を満たす（卒業等）とともに、「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」の3分野で定められた、それぞれ必要な単位を修得すれば教員免許状を取得できます。
- ③ 表I-2で示された単位数は、最低修得単位数ですので、本学で履修する単位数は、これを超える場合があります。
- ④ 詳細は学科別の各課程科目を参照してください（P18～53）。
- ⑤ 本学では、あくまでも1種免許状を取得することを前提にカリキュラムを組んでいます。

2

教職課程の登録について

教職課程は、1年次前期より2年次後期まで、各セメスターで登録できます。
3年次以降は登録できませんので、注意してください。

(1) 登録方法

- ① 4月または9月に行われる「教職課程登録ガイダンス」に必ず出席してください。
(登録時の1回のみ)
- ② ガイダンスで配布される「教職課程登録カード」に必要事項を記入してください。
(記入要領⇒ P5 参照)
- ③ パピルスメイト(証明書等自動発行機)で教職課程費分の登録申請書を購入してください。
(教職課程費は下表を参照)
- ④ 「教職課程登録カード」と教職課程費分の登録申請書を教職キャリアセンター窓口に提出して、登録手続きは完了です。

※ガイダンス欠席の場合は、登録は認められませんので注意してください。

◎ 教職課程費 (平成 27 年度)

教職課程登録時

①	幼稚園のみ	25,000 円
	小学校のみ	
	幼稚園+小学校	
②	中学校のみ	25,000 円
	高等学校のみ	
	中学校+高等学校	

教育実習登録時

全免許一律	25,000 円
-------	----------

教育学部で①と②両方の課程を希望の場合は、50,000 円

※教職課程費分の登録申請書はパピルスメイトで購入できます。
(購入方法⇒ P5 参照)

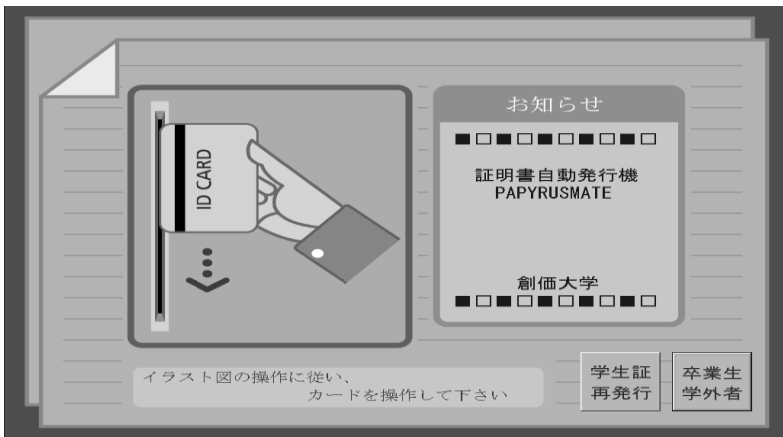
(2) 「教職課程登録カード」記入要領

以下の要領にしたがって間違いのないように記入してください。

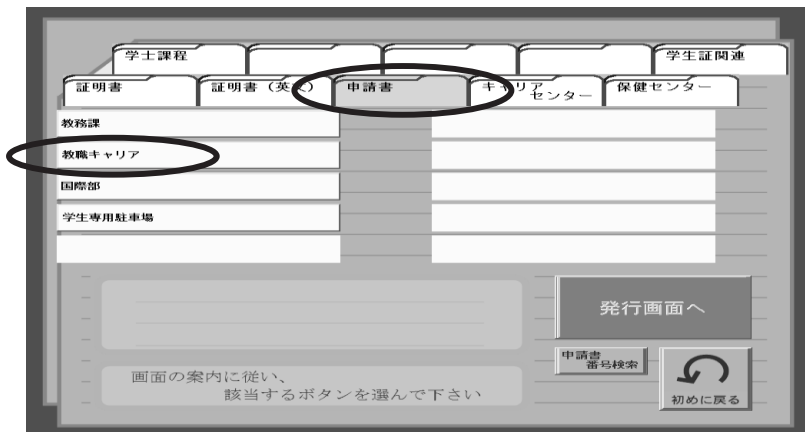
- ① 氏名・学籍番号を記入
- ② 学部・学科を記入
- ③ 現住所・携帯電話番号・メールアドレスを記入
- ④ 所属の学科欄から、登録希望の課程を選択しチェックを入れる

※裏面は「誓約書」となっていますので、内容をよく確認のうえ、署名・捺印をしてください

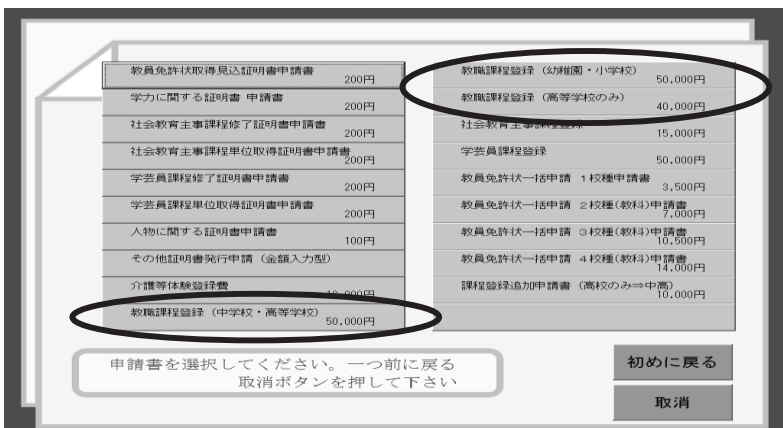
(3) パピルスメイトでの教職課程費納入方法



- ① 学生証をかざす
- ② パスワードを入力



- ③ 「申請書」をタッチ
- ④ 「教職キャリア」をタッチ



- ⑤ 登録希望の課程をタッチ
- ⑥ 入金し発行ボタンをタッチ
- ⑦ 印刷された用紙に必要な事項を記入

3 教職施設について

本学では、教職課程登録者の支援を行う、以下の3施設があります。
1年次より利用可能ですので、ぜひ積極的に活用してください。

教職キャリアセンター相談室

昨今の教員採用試験は難化の傾向にあり、特に、面接や論作文等の人物に関する試験の成績が非常に重要視されるようになってきています。これらは一朝一夕でできるものではなく、早いうちからの計画的な対策が求められます。

また、近年、学校現場での問題も多様化しており、それらに臨機応変に対応できる実力ある教員が求められています。

本学では、教員採用試験の対策はもちろん、学校現場が求める教員を養成するために、教職キャリアセンター相談室を設置し、教員経験の豊富な教職キャリアセンター指導講師の担当による、個別の相談会を開催しています。教職課程登録者は誰でも利用可能ですので、ぜひ積極的に活用してください。

(1) 相談できること

- 進路相談（教職）に関すること
- 教育実習に関すること
（心構え、準備、学習指導案の書き方、模擬授業等）
- 教員採用試験に関すること
（学習スケジュールの立て方、面接練習、論作文対策、集団討論、模擬授業等）

(2) 相談会について

相談会開催時間	
月 ~ 金 曜日	10:00~16:00

※土日祝は休業。
その他、対策講座等のため
臨時で変更する場合があります。

- ① 相談会の日程は、教職キャリアセンターホームページで確認してください。
- ② 相談時間は、1人30分が目安です。
- ③ 相談会は教育学部棟の教職キャリアセンター相談室で開催します。

◎ 相談会予約

相談会は予約が必要です。事前に、教職キャリアセンター相談室窓口で予約をしてください（電話による予約はできません）。

- 【予約受付時間】 月～金 9:30～17:00
※土日祝は休業、その他、臨時で変更する場合があります。
- 【場 所】 教育学部棟 教職キャリアセンター相談室窓口
- 【電 話 番 号】 042-691-9843

教職キャリアセンター相談室内には、以下の書籍・新聞・雑誌を常設しています。

- 教育関係書籍
- 教科書・指導書： 小・中・高の代表的な教科書・指導書（主要教科）
- 各種新聞： 「教育新聞」「日本教育新聞」 等
- 教育関係雑誌： 「教職課程」「教員養成セミナー」 等

自由に閲覧が可能ですので、相談会以外でも教職キャリアセンター相談室をぜひ活用してください。

教職キャリアセンター

- 【窓口時間】 月～金 9:30～17:00 / 土 9:30～12:00
※日曜日・祝日は休業、その他、臨時で変更する場合があります。
- 【場 所】 教育学部棟 1 階

特設課程に関する事務を取り扱っています。事務職員による個人面談等も行っておりますので、質問・相談等、お気軽にお越しください（個人面談は予約が必要です）。

教職自習室

- 【開館時間】 月～金 9:00～21:00
- 【休 館 日】 年末年始休業期間・教職キャリアセンター長が必要と認めた日
- 【場 所】 教職大学院棟（V棟）2 階

教職課程登録者の学習の場として「教職自習室」を設置しています。
利用するには、事前に登録が必要です。

- 【登録窓口】 教職キャリアセンター窓口
- 【登録方法】 申請書を記入することで、即日登録できます。
- 【必要なもの】 印鑑・証明写真（2.5cm×2.5cm）
- 【利用できる者】 本学の学部生・教職大学院生・大学院生の教職課程登録者

4 関門制度について

本学では、介護等体験と教育実習の登録時に GPA による関門を設けております。条件を満たさない場合は、介護等体験・教育実習が実施できなくなり、卒業時までには教員免許状が取得できなくなる可能性があります。

● 第 1 関門（介護等体験登録時）

2 年生前期までの通算 GPA が 3.0 以上の者のみ介護等体験の登録が可能。

※幼稚園のみ、高等学校のみの免許取得希望者は介護等体験不要のため対象外

● 第 2 関門（教育実習登録時）

2 年生後期までの通算 GPA が 3.0 以上の者のみ教育実習の登録が可能。

※教育学部で、幼小免許と中高免許の両方を取得する者、特別支援教諭免許を取得する者は 1 年次後期までの通算 GPA が基準

教職実践演習

2009 年 4 月の教育職員免許法改正により、教員免許状取得のために「教職実践演習」という科目が必修となりました。

これは、教師としての資質を最終的に確認し、補うことを目的に設置された科目で、本学では 4 年次後期に開講しております。

4 年間の集大成として、履修科目の成績等を確認し、少人数のゼミ形式で行われます。

【注意点】

「教職実践演習」を修得せずに卒業した場合、他大学（本学の通信教育部を含む）では、教職実践演習を修得できない可能性があります。これは、4 年間の集大成として行うこの科目の性質上、4 年間の修得科目の成績の確認等を他大学が行うのは困難であり、教職実践演習のみを単独で履修させてくれる可能性が低いためです。なお、創価大学では他大学出身者に教職実践演習は開講しません。

◆ 履修カルテの作成について

教職課程登録者は、教員免許状取得のために履修した科目の「履修カルテ」を作成する必要があります。本学では学習ポートフォリオを利用して作成します。

入力方法等の詳細は「教職課程登録ガイダンス」で説明します。

5 介護等体験について

小学校・中学校の教員免許状を取得する場合に、7日間の介護等体験が義務付けられています。介護等体験を行わない場合には、小学校および中学校の教員免許状を取得できませんので、くれぐれもご注意ください。

(1) 介護等体験の概要

平成9年成立の「介護等体験特例法」では、介護等体験を行う目的が以下のように定められています。

義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員の資質向上及び義務教育の一層の充実を図る観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状取得希望者に、介護等体験を行わせる。

※教員免許状の授与申請にあたり、介護等体験の証明書が必要になります

なお、以下の者は介護等体験を要しないことになっています。

(1) 専門的知識及び技術を有する者

次の免許・資格を有している者

保健士、看護師、准看護師、盲・聾・養護学校教員、

理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士又は義肢装具士

※これらの免許・資格が取得見込みの場合は、介護等体験が必要になります。

(2) 介護等体験を行うことが困難な者

身体障害者手帳に障害の程度が1級～6級であることが記載されている者

以上に該当する方は、教職キャリアセンターまでご相談ください。

(2) 介護等体験の実施期間について

原則として、3年次に7日間実施します。

本学では、

①社会福祉施設：5日間

②特別支援学校：2日間

の計7日間となります。

(3) 介護等体験の実施施設について

介護等体験は、大学が一括して東京都教育委員会・東京都社会福祉協議会に受入依頼申請を行います。なお、本学での介護等体験は、全員、東京都内の施設・学校での実施となります。

※施設・学校の内容、場所、実施日等を個人が選択することはできません

(4) 介護等体験に関わるガイダンス

① 介護等体験登録ガイダンス

2年次後期に開催します。日程は、オリエンテーション日程一覧で確認してください。

② 介護等体験事前講義

2年次後期に開催します。開催日程は、登録ガイダンスで発表します。

上記のほかに開催されるものは、「介護等体験登録ガイダンス」でお伝えします。

※ガイダンス、事前講義の遅刻・欠席・早退は認められません。出席しなかった場合は介護等体験を行うことができませんので、注意してください（公欠に該当する場合を除く）

(5) 介護等体験実施のための費用

区 分	金 額	納 入 時 期
介護等体験費用	16,000 円	2年次 10月頃納入 ※介護等体験登録ガイダンス にて詳細を説明します

一度、納入された介護等体験費用は返還されませんので、注意してください。

6

教育実習について

(1) 教育実習の概要

教育実習は、大学で学んだ理論・実技を学校教育の現場において、実際に経験することにより、教員となるための実技上、研究上の基礎的な能力と態度を養うことを目的として実施する必修科目です。教職課程の総仕上げともいえるべき重要な科目ですので、教職に就こうという強い意志と熱意がなければ、子どもたちの学習の妨げとなるだけでなく、実習校に迷惑をかけることとなります。

したがって、実習を希望する学生は事前の準備と実習に対する心構えを十分に学ばなければなりません。実習に向けた準備は3年次（場合によっては2年次）から始まるので、手続き等で不備のないように注意してください。

なお、実習期間は免許の種類によって異なります。

(2) 教育実習履修資格

教育実習は、あくまでも、将来教員を目指す人のために、実習校と所轄教育委員会の教育的配慮及び好意によって受け入れていただくものです。また、教育実習は、実際の教育現場に参加する実習生として、責任ある立場で臨むものなので、この履修資格については、厳しい条件が要求されることとなります。

1. 教育実習該当者資格

- ①教職に就く意志があり教員として就職可能な者
- ②性行上、教育職員として、適格と認められた者
- ③教育実習に関するガイダンス・書類提出等をすべて行い、本学の指導に従うこと

2. GPAによる関門を突破していること

教育実習登録の前年度までの通算 GPA が 3.0 を満たしていなければ、教育実習を行うことはできません。

3. 「介護等体験」を終了していること

3年次終了までに「介護等体験」終了してください。

※万が一、終了していない場合は、教職キャリアセンターに相談してください

4. 教育実習前年度に教育実習事前講義をすべて受講していること

事前講義を受講していない場合、教育実習を行うことはできません。

5. 教育実習前年度までに下表の単位を修得していること

免許種類	条 件	授業科目	単位
幼稚園	①卒業単位 80 単位以上 (3 年次に教育実習を 行う場合は 60 単位以上) ②「66 条の 6 科目」をすべて修得 していること ③右の授業科目を修得していること	教職概論：児教	2
		初等教育原理（ⅠまたはⅡ）	2
		教育心理学	2
		保育内容総論Ⅰ・Ⅱ	各 2
		保育内容の指導法	3 科目 6 単位
		幼児理解と教育相談	2
小学校	①卒業単位 80 単位以上 (3 年次に教育実習を 行う場合は 60 単位以上) ②「66 条の 6 科目」をすべて修得 していること ③右の授業科目を修得していること	教職概論：児教	2
		初等教育原理（ⅠまたはⅡ）	2
		教育心理学	2
		各教科の指導法	6 科目 12 単位
		道徳教育論：児教	1 科目
		生徒・進路指導論：児教	2 単位以上
中学校 高等学校 【教育学科以外】	①卒業単位 80 単位以上 (3 年次に教育実習を 行う場合は 60 単位以上) ②「66 条の 6 科目」をすべて修得 していること ③右の授業科目を修得していること	教職概論：教職	2
		教育原論	2
		教育心理	2
		各教科の指導法 (教育実習を行う科目)	2
		道徳教育論	1 科目 2 単位以上
		特別活動 生徒・進路指導論：教職	
中学校 高等学校 【教育学科】	①卒業単位 80 単位以上 (3 年次に教育実習を 行う場合は 60 単位以上) ②「66 条の 6 科目」をすべて修得 していること ③右の授業科目を修得していること	教職概論：教育	2
		教育学概論（ⅠまたはⅡ）	2
		教育心理学Ⅰ	3
		各教科の指導法 (教育実習を行う科目)	2
		道徳教育論	1 科目 2 単位以上
		特別活動 生徒・進路指導論：教育	

【注意】

中国語・ロシア語での教育実習校の確保が困難な状況にあるため、中国語免許取得希望者は「国語」で、ロシア語免許取得希望者は「英語」で教育実習を行うことを認めます。ただし、教育実習前年度までに、それぞれ「国語科教育法」「英語科教育法」を 2 単位以上取得してください。

(3) 教育実習校の種類

実習校は、以下の2種類に区分されます。

①地方委託校・私立校

本人の出身校（園）、または最寄りの学校（園）、縁故の学校（園）で行う実習です。実習校の開拓は、各自が個々に交渉して確保しなければなりません。早い時期に受け入れ状況を把握して実習校（園）の確保に努めてください。

また、個人の交渉による実習校の確保を禁止している、「指定校制度」を採っている地域もあります。詳細は教育実習の各種ガイダンスで説明します。

②東京都公立校

教育実習前年度に大学が東京都教育委員会に一括で申請し、実習校が指定されます。原則として、個人の交渉による実習校の確保は禁止されていますので、大学と連携をとりながら実習校の確保を進めていきます。詳細は教育実習の各種ガイダンスで説明します。

(4) 教育実習の手続きについて（予定）

年 度	月	内 容
実習前年度	4月	教育実習登録ガイダンス
	6月	教育実習内諾依頼ガイダンス
	9月	教育実習事前講義Ⅰ
	10～11月	教育実習正式依頼ガイダンス
	12月	教育実習事前講義Ⅱ
	12～1月	教育実習実施ガイダンス
	1～2月	教育実習事前講義Ⅲ
	3月	教育実習事前講義Ⅳ
実習年度	4月	教育実習許可者発表
	4月	教育実習直前ガイダンス
	5～12月	教育実習
	12～1月	教育実習報告大会

※ガイダンス、事前講義の遅刻・欠席・早退は認められません。出席しなかった場合は教育実習を行うことができませんので、注意してください（公欠に該当する場合を除く）

7 特別支援教諭免許の教育実習について

(1) 特別支援教諭免許の教育実習について

特別支援教諭免許を取得するには、基礎免許（幼稚園・小学校・中学校・高等学校免許）でおこなう教育実習の他に、特別支援学校における教育実習をおこなう必要があります。具体的には、3年生で基礎免許の教育実習を、4年生で特別支援教諭免許の教育実習を実施します。

したがって、実習を希望する学生は、2年生の4月に基礎免許の教育実習の登録をし、ガイダンスや事前講義を経て3年生で基礎免許の教育実習をおこない、3年生の4月に特別支援免許の教育実習の登録をし、ガイダンスや事前講義を経て、4年生で特別支援の教育実習をおこないます。

2年連続で教育実習をおこないますので、手続き等で不備のないように注意してください。
なお、特別支援教諭免許の教育実習は2週間（10日間）実施します。

(2) 教育実習履修資格

教育実習は、あくまでも、将来教員を目指す人のために、実習校と所轄教育委員会の教育的配慮及び好意によって受け入れていただくものです。また、教育実習は、実際の教育現場に参加する実習生として、責任ある立場で臨むものなので、この履修資格については、厳しい条件が要求されることになります。

1. 教育実習該当者資格

- ①教職に就く意志があり教員として就職可能な者
- ②性行上、教育職員として、適格と認められた者
- ③教育実習に関するガイダンス・書類提出等をすべて行い、本学の指導に従うこと
- ④3年次において、基礎免許となる教育実習を修了していること。

2. GPAによる関門を突破していること

教育実習登録の前年度までの通算 GPA が 3.0 以上という基準を満たしていなければ、教育実習を行うことはできません。

3. 「介護等体験」を終了していること

3年次終了までに「介護等体験」を終了してください。

※万が一、終了していない場合は、教職キャリアセンターに相談してください

4. 教育実習前年度に教育実習事前講義をすべて受講していること

事前講義を受講していない場合、教育実習を行うことはできません。

5. 教育実習前年度までに次ページの単位を修得していること

条 件	授業科目	必要単位
①卒業単位 80 単位以上 ②右の単位を修得していること	特別支援教育概論	2
	知的障害者の心理・生理・病理	左記科目から 4単位以上
	肢体不自由者の心理・生理・病理	
	障害者の心理・生理・病理A	
	障害者の心理特論	
	知的障害教育Ⅰ	左記科目から 6単位以上
	知的障害教育Ⅱ	
	肢体不自由教育総論	
	病弱教育総論	
	障害者の心理・生理・病理B	左記科目から 4単位以上
	LD等の心理・生理・病理	
	視覚・聴覚障害教育総論	
	LD等教育総論	

(3) 教育実習校

実習校は、基本的に東京都立の特別支援学校で実施します。

東京都立学校

教育実習前年度に大学が東京都教育委員会に一括で申請し、実習校が指定されます。原則として、個人の交渉による実習校の確保は禁止されていますので、大学と連携をとりながら実習校の確保を進めていきます。詳細は教育実習のガイダンスで説明します。

なお、自己開拓により東京都以外の地域で実施することも可能です。その場合、各種手続き等の詳細は個人で受入学校等に確認し、大学と連携を取りながら進めていきます。希望する学生は必ず教職キャリアセンターに相談してください。

(4) 教育実習の手続きについて（予定）

年 度	月	内 容
実習前年度	4月	教育実習登録ガイダンス
	9月	教育実習事前講義Ⅰ
	12月	教育実習事前講義Ⅱ
	12～1月	教育実習実施ガイダンス
	1～2月	教育実習事前講義Ⅲ
	3月	教育実習事前講義Ⅳ
実習年度	4月	教育実習許可者発表
	4月	教育実習直前ガイダンス
	5～12月	教育実習
	12～1月	教育実習報告大会

※ガイダンス、事前講義の遅刻・欠席・早退は認められません。出席しなかった場合は教育実習を行うことができませんので、注意してください（公欠に該当する場合を除く）

8

学科別各課程科目一覽

経済学部 18

経済学科

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 18

法学部 20

法律学科

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 20

文学部 22

人間学科

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 22

中【英語】／高【英語】 24

中【国語】／高【国語】 26

中【中国語】／高【中国語】 28

中【ロシア語】／高【ロシア語】 30

経営学部 32

経営学科

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 32

教育学部 35

教育学科

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 36

中【英語】／高【英語】 38

小学校／幼稚園 40

児童教育学科

小学校／幼稚園 42

中【社会】／高【地理歴史】【公民】 44

中【英語】／高【英語】 46

特別支援 48

理工学部 50

情報システム工学科

中【数学】／高【数学】【情報】 50

共生創造理工学科

中【理科】／高【理科】 52

経済学部 | 経済学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

経済：経済学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	1科目以上 選択必修	2	共通	
	コンピュータリテラシー II		2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況			
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科教育法 I	2	必			教職	2		
			社会科教育法 II (地歴科含む)	2	必	必		教職	2		
			社会科教育法 III (公民科含む)	2	必		必	教職	3		
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2		
			公民科教育法	2			必	教職	2		
			道徳教育論	2	必			教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	必	教職	2		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法	2	必	必	必	教職	3		
			生徒・進路指導論:教職	2	必	必	必	教職	2		
第六欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必			教職	4		
			教育実習(高)	3		必	必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教職	4		
修得が必要な単位数					31	25	25				

※「教職概論」は経済学科の時間割に記載されているものを履修すること。



教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会	高1 地歴
	高1 公民

【中学校1種 社会】 【高等学校1種 地理歴史】 【高等学校1種 公民】

法令科目区分		教 職					学 部		修得状況		
		科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時 間 割	開講 年次	修得 年次	成績	
日本史及び外国史	日本史	日本史Ⅰ	2	必	必		教職	2			
		日本史Ⅱ	2	必	必		教職	2			
		日本経済史	4	選	選		経済	2			
		現代経済史	4	選	選		経済	3・4			
		外国史Ⅰ(西洋史)	2	必	必		教職	2			
	外国史	外国史Ⅱ(東洋史)	外国史Ⅱ(東洋史)	2	必	必		教職	2		
			西洋文化史	2	選	選		教職	3		
			西洋社会史	2	選	選		教職	3		
			東洋文化史Ⅰ	2	選	選		教職	3		
			東洋文化史Ⅱ	2	選	選		教職	3		
経済と歴史		経済と歴史	4	選	選		経済	1			
		西洋経済史	4	選	選		経済	2			
		経済学史	4	選	選		経済	3・4			
		地理学Ⅰ	2	必	必		教職	2			
		地理学Ⅱ	2	必	必		教職	2			
人文地理学及び自然地理学	人文地理学	人文地理学	2	選	必		教職	3			
		自然地理学	2	選	必		教職	3			
	開発と貧困の経済学	開発と貧困の経済学	4	選	選		経済	2			
		地誌学	2	必	必		教職	3			
「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	必		必	教職	1			
		政治学原論	4	選		必	教職	2			
		法と経済A	4	選		選	経済	2			
「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	法と経済B	4	選		選	経済	3・4			
		ミクロ経済学	4	必		必	経済	1			
		マクロ経済学	4	必		必	経済	1			
		日本経済論	4	選		選	経済	2			
		基礎統計学A	4	選		選	経済	1			
		基礎統計学B	4	選		選	経済	1			
		統計学	4	選		選	経済	3・4			
		経済数学入門A	4	選		選	経済	1			
		経済数学入門B	4	選		選	経済	1			
		経済数学	4	選		選	経済	2			
		公共経済論	4	選		選	経済	3・4			
		マクロ経済学中級	4	選		選	経済	2			
		ミクロ経済学中級	4	選		選	経済	2			
		マクロ経済学上級	4	選		選	経済	3・4			
		ミクロ経済学上級	4	選		選	経済	3・4			
		計量経済学	4	選		選	経済	3・4			
		ファイナンス理論	4	選		選	経済	3・4			
		金融論	4	選		選	経済	2			
		財政学	4	選		選	経済	2			
		財政学上級	4	選		選	経済	3・4			
		グローバル経済Ⅰ	2	選		選	経済	2			
		グローバル経済Ⅱ	2	選		選	経済	2			
		環境経済論	4	選		選	経済	2			
		アジア経済論	2	選		選	経済	3・4			
		アフリカ経済論	2	選		選	経済	3・4			
		中国経済論	2	選		選	経済	3・4			
		ロシア・ユーラシア経済論	2	選		選	経済	3・4			
		人間主義経済学	2	選		選	経済	3・4			
		労働経済論	4	選		選	経済	2			
		国際経済論	4	選		選	経済	2			
		簿記入門	2	選		選	経済	1			
		簿記演習	2	選		選	経済	2			
		会計学	4	選		選	経済	3・4			
		Global Economy Lecture	2	選		選	経済	1			
		Economics Lecture A	4	選		選	経済	1			
		Economics Lecture B	4	選		選	経済	1			
「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	2			
		哲学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	2			
		倫理学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	2			
		倫理学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	2			
		宗教学Ⅰ	2	選必		選必	教職	2			
		宗教学Ⅱ	2	選必		選必	教職	2			
		心理学概論Ⅰ	2			選必	教職	1			
		心理学概論Ⅱ	2			選必	教職	1			

1科目2単位以上
選択必修

修得が必要な単位数	28	36	36
-----------	----	----	----

法学部 | 法律学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 … 教職必修科目

選必 … 教職選択必修科目

選択 … 選択科目

… 免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

法律：法律学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	2	共通		
	コンピュータリテラシー II				
1科目以上 選択必修					

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況			
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科教育法 I	2	必			教職	2		
			社会科教育法 II (地歴科含む)	2	必	必		教職	2		
			社会科教育法 III (公民科含む)	2	必		必	教職	3		
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2		
			公民科教育法	2			必	教職	2		
			道徳教育論	2	必			教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	必	教職	2		
			教育方法	2	必	必	必	教職	3		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	必	教職	2		
			教育相談	2	必	必	必	教職	2		
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必			教職	4		
			教育実習(高)	3		必	必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教職	4		

修得が必要な単位数

31 25 25

※「教職概論」は法律学科の時間割に記載されているものを履修すること。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会	高1 地歴
	高1 公民

【中学校1種 社会】 【高等学校1種 地理歴史】 【高等学校1種 公民】

法令科目区分		教 職					学 部		修得状況		
科目名	単位	中1	高1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績			
		社会	地理歴史	公民							
日本史及び外国史	日本史	日本史Ⅰ	2	必	必	教職	2				
		日本史Ⅱ	2	必	必	教職	2				
		法学史	4	選	選	法律	3				
		日本政治思想史	4	選	選	法律	3				
		日本政治外交史	2	選	選	法律	3				
		外国史Ⅰ(西洋史)	2	必	必	教職	2				
		外国史Ⅱ(東洋史)	2	必	必	教職	2				
		西洋文化史	2	選	選	教職	3				
		西洋社会史	2	選	選	教職	3				
	外国史	東洋文化史Ⅰ	2	選	選	教職	3				
		東洋文化史Ⅱ	2	選	選	教職	3				
		国際関係史	2	選	選	法律	2				
		政治学史	4	選	選	法律	2				
		法思想史	2	選	選	法律	3				
		人文地理学及び自然地理学	地理学Ⅰ	2	必	必	教職	2			
			地理学Ⅱ	2	必	必	教職	2			
			人文地理学	2	選	必	教職	3			
			自然地理学	2	選	必	教職	3			
地誌	水法演習	2	選	選	法律	3					
	地誌学	2	必	必	教職	3					
「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	必	必	法律	1				
		憲法総論・統治機構論	4	選	選	法律	1				
		民法総則	4	選	選	法律	1				
		刑法総論	4	選	選	法律	2				
		政治学	2	選	必	法律	1				
		国際政治論	4	選	選	法律	2				
		国際法総論	4	選	選	法律	2				
		憲法人権論	4	選	選	法律	1				
		物権法	4	選	選	法律	2				
		会社法	4	選	選	法律	3				
		債権総論	4	選	選	法律	2				
		債権各論	4	選	選	法律	3				
		刑法各論	4	選	選	法律	2				
		政治学原論	4	選	選	法律	1				
		行政法総論	4	選	選	法律	2				
		行政救済法	4	選	選	法律	2				
		親族・相続法	4	選	選	法律	3				
		比較憲法	4	選	選	法律	3				
		民事訴訟法	4	選	選	法律	3				
		民事救済手続法	4	選	選	法律	3				
		刑事訴訟法	4	選	選	法律	3				
		国際法各論	4	選	選	法律	2				
		労働法	4	選	選	法律	3				
		消費者法	2	選	選	法律	3				
		公共政策論	2	選	選	法律	2				
		環境法	4	選	選	法律	3				
		国際人権法	2	選	選	法律	2				
		国際機構論	2	選	選	法律	3				
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論	2	必	必	教職	1		
				社会学	4	選	選	法律	3		
		「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ	2	選必	選必	教職	2		
				哲学概論Ⅱ	2	選必	選必	教職	2		
				倫理学概論Ⅰ	2	選必	選必	教職	2		
倫理学概論Ⅱ	2			選必	選必	教職	2				
宗教学Ⅰ	2			選必	選必	教職	2				
宗教学Ⅱ	2			選必	選必	教職	2				
心理学概論Ⅰ	2			選	選必	教職	1				
心理学概論Ⅱ	2			選	選必	教職	1				

1科目2単位以上
選択必修

修得が必要な単位数 28 36 36

文学部 | 人間学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I } コンピュータリテラシー II }	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況			
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間割	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科教育法 I	2	必			教職	2		
			社会科教育法 II (地歴科含む)	2	必	必		教職	2		
			社会科教育法 III (公民科含む)	2	必		必	教職	3		
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2		
			公民科教育法	2			必	教職	2		
			道徳教育論	2	必			教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	必	教職	2		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法	2	必	必	必	教職	3		
			生徒・進路指導論:教職	2	必	必	必	教職	2		
第六欄	教育実践		教育相談	2	必	必	必	教職	2		
			教育実践演習(中・高)	5	必			教職	4		
第六欄	教職実践演習		教育実践(高)	3		必	必	教職	4		
			教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教職	4		

修得が必要な単位数

31 25 25

※「教職概論」は人間学科の時間割に記載されているものを履修すること。

文学部 | 人間学科 【英語】

記号の説明

必 …教職必修科目 選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目 …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目 教職：教員免許状取得のための特設課程科目 人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況	
			科目名	単位	中1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績
英語	英語									
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	必	教職	1		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理	2	必	必	教職	1		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育行政	2	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	英語科教育法Ⅰ	2	必	必	人間	2		
		・各教科の指導法	英語科教育法Ⅱ	2	必	必	人間	2		
			英語科教育法Ⅲ	2	必	必	人間	3		
			英語科教育法Ⅳ	2			人間	3		
			・道徳の指導法	道徳教育論	2	必		教職	2	
		・特別活動の指導法	特別活動:教職	2	必	必	教職	2		
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法	2	必	必	教職	3				
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	教職	2		
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	必	必	教職	2		
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必		教職	4		
			教育実習(高)	3		必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	教職	4		
			修得が必要な単位数		31	27				

※「教職概論」は人間学科の時間割に記載されているものを履修すること。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 英語

高1 英語

【中学校1種 英語】 【高等学校1種 英語】

法令科目区分	科目名	単位	教 職		学 部		修得状況		
			中1 英語	高1 英語	時 間 割	開講 年次	修得 年次	成績	
英語学	英語学概論 I	2	必	必	人間	1			
	英語学概論 II	2	必	必	人間	1			
	英語文化への招待	2	選	選	人間	1			
	中・古期英語史と文化	2	選	選	人間	2			
	近代英語史と文化	2	選	選	人間	2			
	英語音声学	2	選	選	人間	2			
	英文法研究 I	2	選	選	人間	2			
	英文法研究 II	2	選	選	人間	2			
	認知英語学 I	2	選	選	人間	2			
	認知英語学 II	2	選	選	人間	2			
	日英語比較概説	2	選	選	人間	1			
	日英語比較研究	2	選	選	人間	2			
	英語語用論	2	選	選	人間	2			
	Text Studies	2	選	選	人間	1			
	言語創造論	2	選	選	人間	2			
	English in Society	2	選	選	人間	2			
	English in Institutions	2	選	選	人間	2			
	Second Language Acquisition Basic	2	選	選	人間	1			
	Second Language Acquisition Advanced	2	選	選	人間	2			
	Second Language Classrooms	2	選	選	人間	3			
	Teaching and Testing Materials	2	選	選	人間	3			
	Teaching Academic English	2	選	選	人間	3			
	英米文学	英米文学概論 I	2	必	必	人間	2		
		英米文学概論 II	2	必	必	人間	2		
		Reading: Literary Works I	2	選	選	人間	1・2		
		Reading: Literary Works II	2	選	選	人間	1・2		
		英米文学講読 I	2	選	選	人間	2		
		英米文学講読 II	2	選	選	人間	2		
		神話・聖書と文学	2	選	選	人間	2		
		アメリカ古典文学史	2	選	選	人間	2		
		アメリカ近代文学史	2	選	選	人間	2		
		イギリス古典文学史	2	選	選	人間	2		
		イギリス近代文学史	2	選	選	人間	2		
		イギリス小説・散文研究	2	選	選	人間	3		
		英米児童文学研究	2	選	選	人間	3		
		アメリカ小説・散文研究	2	選	選	人間	3		
		英米詩・戯曲研究	2	選	選	人間	3		
		英米文学特講 I	2	選	選	人間	3		
英米文学特講 II		2	選	選	人間	3			
演劇論		2	選	選	人間	3			
演劇入門		2	選	選	人間	2			
Literature I		2	選	選	人間	1~4			
Literature II		2	選	選	人間	1~4			
Stylistics		2	選	選	人間	1			
英語コミュニケーション		Oral Communication in English I	1	選必	選必	人間	1・2		
	Oral Communication in English II	1	選必	選必	人間	1・2			
	Translation Basic I	2	選	選	人間	1・2			
	Translation Basic II	2	選	選	人間	1・2			
	Academic Writing A I	2	選	選	人間	1・2			
	Academic Writing A II	2	選	選	人間	1・2			
	Academic Writing B I	2	選	選	人間	1・2			
	Academic Writing B II	2	選	選	人間	1・2			
	Global Issues in English A I	2	選	選	人間	1・2			
	Global Issues in English A II	2	選	選	人間	1・2			
	Global Issues in English B I	2	選	選	人間	1・2			
	Global Issues in English B II	2	選	選	人間	1・2			
	Interpretation A I	2	選	選	人間	2			
	Interpretation A II	2	選	選	人間	2			
	Interpretation B I	2	選	選	人間	2			
	Interpretation B II	2	選	選	人間	2			
	Translation A I	2	選	選	人間	2			
	Translation A II	2	選	選	人間	2			
	Translation B I	2	選	選	人間	2			
	Translation B II	2	選	選	人間	2			
	Translation Studies	2	選	選	人間	2			
	Mass Communication	2	選	選	人間	1			
	Interpersonal Communication	2	選	選	人間	1			
	質的調査分析法	2	選	選	人間	2			
	英語特講A	2	選	選	人間	2			
	英語特講B	2	選	選	人間	2			
	異文化理解	比較文化 I	2	選必	選必	人間	1		
比較文化 II		2	選必	選必	人間	1			
Intercultural Communication		2	選必	選必	人間	2			
Global communication		2	選必	選必	人間	2			

中学校1種・高等学校1種
英語

1科目
1単位
以上
選択
必修

2科目
4単位
いずれか
選択
必修

修得が必要な単位数

28 36

文学部 | 人間学科 【国語】

記号の説明

必 …教職必修科目 選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目 …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目 教職：教員免許状取得のための特設課程科目 人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I } コンピュータリテラシー II }	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況		
			科目名	単位	中1 国語	高1 国語	時間割	開講年次	修得年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	必	教職	1		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理	2	必	必	教職	1		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育行政	2	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	国語科教育法 I	2	必	必	人間	2		
		・各教科の指導法	国語科教育法 II	2	必	必	人間	2		
			国語科教育法 III	2	必	必	人間	3		
			国語科教育法 IV	2			人間	3		
		・道徳の指導法	道徳教育論	2	必		教職	2		
		・特別活動の指導法	特別活動:教職	2	必	必	教職	2		
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法	2	必	必	教職	3		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	教職	2		
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	必	必	教職	2		
第六欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必		教職	4		
			教育実習(高)	3		必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	教職	4		
			修得が必要な単位数	31	27					

※「教職概論」は人間学科の時間割に記載されているものを履修すること。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 国語

高1 国語

【中学校1種 国語】 【高等学校1種 国語】

法令科目区分	教 職		学 部		修得状況				
	科目名	単位	中1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
国語			国語						
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論Ⅰ	2	必	必	人間	1			
	日本語学概論Ⅱ	2	必	必	人間	1			
	日本語教育入門	2	選	選	人間	1			
	日本語教育概論Ⅰ	2	選	選	人間	1			
	日本語教育概論Ⅱ	2	選	選	人間	1			
	日本語音声学	2	選	選	人間	2			
	日本語の語彙・表記	2	選	選	人間	2			
	現代日本語文法A	2	選	選	人間	2			
	現代日本語文法B	2	選	選	人間	2			
	日本語コミュニケーション論	2	選	選	人間	1			
	社会言語学	2	選	選	人間	2			
	言語学概論Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	言語学概論Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	日本語教授法Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	日本語教授法Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	日本語教材研究Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	日本語教材研究Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	対照言語学Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	対照言語学Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	日本語教育実習	2	選	選	人間	3・4			
	日本語学特講A	2	選	選	人間	3			
	日本語学特講B	2	選	選	人間	3			
	日本語教育学特講A	2	選	選	人間	3			
	日本語教育学特講B	2	選	選	人間	3			
	日本語教育学特講C	2	選	選	人間	3			
	国文学(国文学史を含む。)	日本文学概論Ⅰ	2	必	必	人間	1		
		日本文学概論Ⅱ	2	必	必	人間	1		
		日本文学史	2	必	必	人間	2		
		日本古典文学講読	2	選	選	人間	2		
		日本近代文学講読	2	選	選	人間	2		
		日本古典文学作家作品論A	2	選	選	人間	2		
		日本古典文学作家作品論B	2	選	選	人間	2		
		日本近代文学作家作品論A	2	選	選	人間	2		
日本近代文学作家作品論B		2	選	選	人間	2			
日本文学特講A		2	選	選	人間	3			
日本文学特講B		2	選	選	人間	3			
日本文学特講C	2	選	選	人間	3				
漢文学	漢文学特講Ⅰ	2	必	必	人間	2			
	漢文学特講Ⅱ	2	必	必	人間	2			
書道(書写を中心とする。)	書道Ⅰ	2	必		人間	1			
	書道Ⅱ	2	必		人間	2			

修得が必要な単位数

28

36

文学部 | 人間学科 【中国語】

記号の説明

必 …教職必修科目 選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目 ■ …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目 教職：教員免許状取得のための特設課程科目 人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I } コンピュータリテラシー II }	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況	
			科目名	単位	中1 中国語	高1 中国語	時間割 開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	教職	1	
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	教職	1	
			教育心理	2	必	必	教職	1	
			教育行政	2	必	必	教職	3	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中国語科教育法 I	2	必	必	人間	2	
			中国語科教育法 II	2	必	必	人間	2	
			中国語科教育法 III	2	必	必	人間	3	
			中国語科教育法 IV	2			人間	3	
			道德教育論	2	必		教職	2	
			特別活動:教職	2	必	必	教職	2	
			教育方法	2	必	必	教職	3	
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	教職	2	
			教育相談	2	必	必	教職	2	
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必		教職	4	
			教育実習(高)	3		必	教職	4	
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	教職	4	
			修得が必要な単位数		31	27			

※「教職概論」は人間学科の時間割に記載されているものを履修すること。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 中国語

高1 中国語

【中学校1種 中国語】 【高等学校1種 中国語】

法令科目区分	教 職		学 部		修得状況				
	科目名	単位	中1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
			中国語	中国語					
中学校1種・高等学校1種 中国語	中国語学	中国語学上中級Ⅰ	2	必	必	人間	3		
		中国語学上中級Ⅱ	2	必	必	人間	3		
		中国語文法研究Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国語文法研究Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		中国語文法初中級Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国語文法初中級Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		中国語購読初級Ⅰ	2	選	選	人間	1		
		中国語購読初級Ⅱ	2	選	選	人間	1		
		中国語購読初中級Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国語購読初中級Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		通訳演習(中日)A	2	選	選	人間	3		
		通訳演習(中日)B	2	選	選	人間	3		
		翻訳演習(中日)A	2	選	選	人間	3		
		翻訳演習(中日)B	2	選	選	人間	3		
		中国語学概論Ⅰ	2	選	選	人間	1		
		中国語学概論Ⅱ	2	選	選	人間	1		
		中国語作文中上級Ⅰ	2	選	選	人間	3		
		中国語作文中上級Ⅱ	2	選	選	人間	3		
	中国文学	中国文学Ⅰ	2	必	必	人間	2		
		中国文学Ⅱ	2	必	必	人間	2		
	中国語コミュニケーション	中国語コミュニケーション演習初級Ⅰ	2	必	必	人間	1		
		中国語コミュニケーション演習初級Ⅱ	2	必	必	人間	1		
		中国の近現代思想	2	選	選	人間	3		
		現代中国概論	2	選	選	人間	1		
		中国社会文化論Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国社会文化論Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		中国語作文初中級Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国語作文初中級Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		通訳演習(日中)A	2	選	選	人間	3		
		通訳演習(日中)B	2	選	選	人間	3		
		翻訳演習(日中)A	2	選	選	人間	3		
		翻訳演習(日中)B	2	選	選	人間	3		
		中国語コミュニケーション演習初中級Ⅰ	2	選	選	人間	2		
		中国語コミュニケーション演習初中級Ⅱ	2	選	選	人間	2		
		通訳演習(中日)B	2	選	選	人間	3		
		中国語コミュニケーション演習中上級Ⅰ	2	選	選	人間	3		
		中国語コミュニケーション演習中上級Ⅱ	2	選	選	人間	3		
		異文化理解	中国社会文化入門Ⅰ	2	必	必	人間	1	
	中国社会文化入門Ⅱ		2	必	必	人間	1		
	中国語学入門Ⅰ		2	選	選	人間	1		
	中国語学入門Ⅱ		2	選	選	人間	1		
	東アジアの政治		2	選	選	人間	2		
中国の政治	2		選	選	人間	2			
東アジアの思想	2		選	選	人間	2			
中国の思想	2		選	選	人間	2			
中国語総合初中級Ⅰ	2		選	選	人間	2			
中国語総合初中級Ⅱ	2		選	選	人間	2			
東アジアの経済	2		選	選	人間	2			
中国の経済	2		選	選	人間	2			
修得が必要な単位数			28	36					

文学部 | 人間学科 【ロシア語】

記号の説明

必 …教職必修科目 選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目 …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目 教職：教員免許状取得のための特設課程科目 人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況		
			科目名	単位	中1 ロシア語	高1 ロシア語	時間割	開講年次	修得年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	ロシア語科教育法Ⅰ	2	必	必	人間	2		
			ロシア語科教育法Ⅱ	2	必	必	人間	2		
			ロシア語科教育法Ⅲ	2	必	必	人間	3		
			ロシア語科教育法Ⅳ	2			人間	3		
			道徳教育論	2	必		教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	教職	2		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法	2	必	必	教職	3		
			生徒・進路指導論:教職	2	必	必	教職	2		
第六欄	教職実践演習		教育相談	2	必	必	教職	2		
			教育実践演習(中・高)	5	必		教職	4		
			教育実践演習(高)	3		必	教職	4		
			教職実践演習(中・高)	2	必	必	教職	4		
			修得が必要な単位数		31	27				

※「教職概論」は人間学科の時間割に記載されているものを履修すること。

C

教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 ロシア語 高1 ロシア語

【中学校1種 ロシア語】 【高等学校1種 ロシア語】

法令科目区分	教 職				学 部		修得状況		
	科目名	単位	中1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
			ロシア語	ロシア語					
中学校1種・高等学校1種 ロシア語	ロシア語学	ロシア語学 I	2	必	必	人間	2		
	ロシア語学 II	2	必	必	人間	2			
	ロシア語入門A I	1	選	選	人間	1			
	ロシア語入門A II	1	選	選	人間	1			
	ロシア語入門B I	1	選	選	人間	1			
	ロシア語入門B II	1	選	選	人間	1			
	ロシア語文法初級 I	2	選	選	人間	2			
	ロシア語文法初級 II	2	選	選	人間	2			
	ロシア語文法中級 I	2	選	選	人間	2			
	ロシア語文法中級 II	2	選	選	人間	2			
	ロシア語講読入門 I	2	選	選	人間	2			
	ロシア語講読入門 II	2	選	選	人間	2			
	ロシア語文法上級 I	2	選	選	人間	3			
	ロシア語文法上級 II	2	選	選	人間	3			
	ロシア文学	ロシア文学入門	2	必	必	人間	1		
	ロシア詩の鑑賞	2	選	選	人間	3			
	ロシア小説の鑑賞	2	選	選	人間	3			
	ロシア文学 I	2	選	選	人間	3			
	ロシア文学 II	2	選	選	人間	3			
	ロシア語コミュニケーション	ロシア語コミュニケーション初級 I	1	必	必	人間	1		
	ロシア語コミュニケーション初級 II	1	必	必	人間	1			
	ロシア語翻訳初級 I	2	選	選	人間	2			
	ロシア語翻訳初級 II	2	選	選	人間	2			
	ロシア語コミュニケーション中級 I	1	選	選	人間	2			
	ロシア語コミュニケーション中級 II	1	選	選	人間	2			
	時事ロシア語	2	選	選	人間	3			
	ロシア語翻訳上級 I	2	選	選	人間	3			
	ロシア語翻訳上級 II	2	選	選	人間	3			
	ロシア語発音トレーニング I	1	選	選	人間	1			
	ロシア語発音トレーニング II	1	選	選	人間	1			
	ロシア語コミュニケーション上級 I	1	選	選	人間	3			
	ロシア語コミュニケーション上級 II	1	選	選	人間	3			
	異文化理解	ロシアの歴史と文化	2	必	必	人間	2		
	現代ロシア概論	2	選	選	人間	1			
	東欧の歴史と文化	2	選	選	人間	2			
	映画論	2	選	選	人間	2			
	スラヴの言語文化 I	2	選	選	人間	2			
	スラヴの言語文化 II	2	選	選	人間	2			
	ロシアの社会	2	選	選	人間	3			
	中央アジア論	2	選	選	人間	2			
ロシアの経済	2	選	選	人間	3				
スラヴ比較言語論 I	2	選	選	人間	2				
スラヴ比較言語論 II	2	選	選	人間	2				
修得が必要な単位数			28	36					

経営学部 | 経営学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 … 教職必修科目

選必 … 教職選択必修科目

選択 … 選択科目

… 免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

経営：経営学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	1科目以上 選択必修	2	共通	
	コンピュータリテラシー II		2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況		
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間割	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育原論	2	必	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科教育法 I	2	必			教職	2		
			社会科教育法 II (地歴科含む)	2	必	必		教職	2		
			社会科教育法 III (公民科含む)	2	必		必	教職	3		
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2		
			公民科教育法	2			必	教職	2		
			道徳教育論	2	必			教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	必	教職	2		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	必	教職	2		
			教育相談	2	必	必	必	教職	2		
第六欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必			教職	4		
			教育実習(高)	3		必	必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教職	4		
修得が必要な単位数					31	25	25				

※「教職概論」は経営学科の時間割に記載されているものを履修すること。



教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会	高1 地理
	高1 公民

【中学校1種 社会】 【高等学校1種 地理歴史】 【高等学校1種 公民】

法令科目区分		教 職			学 部		修得状況						
		科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績			
中学校1種 社会	高等学校1種 地理歴史	日本史及び外国史	日本史	日本史Ⅰ	2	必	必		教職	2			
				日本史Ⅱ	2	必	必		教職	2			
				日本経済史	4	選	選		教職	2			
			外国史	外国史Ⅰ(西洋史)	2	必	必		教職	2			
				外国史Ⅱ(東洋史)	2	必	必		教職	2			
				西洋文化史	2	選	選		教職	3			
				西洋社会史	2	選	選		教職	3			
				東洋文化史Ⅰ	2	選	選		教職	3			
				東洋文化史Ⅱ	2	選	選		教職	3			
				経済と歴史	4	選	選		教職	1			
				経営史	4	選	選		経営	3・4			
				国際比較経営史	2	選	選		経営	3・4			
				西洋経済史	4	選	選		教職	2			
				経済学史	4	選	選		教職	3			
				地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学	地理学Ⅰ	2	必	必		教職	2	
						地理学Ⅱ	2	必	必		教職	2	
						人文地理学	2	選	必		教職	3	
						自然地理学	2	選	必		教職	3	
						国際地域経営論	2	選	選		経営	3・4	
						環境マネジメント	2	選	選		経営	3・4	
					多国籍企業論	4	選	選		経営	3・4		
			地誌	地誌学	2	必	必		教職	3			
		高等学校1種 公民	「法律学、政治学」	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	必		必	教職	1		
					政治学原論	4	選		必	教職	2		
					会社法	4	選		選	経営	2		
					労働法	4	選		選	経営	3・4		
			「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	経済学入門	4	必		必	経営	2		
					社会学概論	2	選		必	教職	1		
					日本経済論	4	選		選	教職	2		
					マクロ経済学中級	4	選		選	経営	3・4		
					ミクロ経済学中級	4	選		選	経営	3・4		
					ビジネスのための基礎数学	2	選		選	経営	1		
					証券市場論	4	選		選	経営	3・4		
					金融論	4	選		選	経営	3・4		
					人間主義経営演習	2	選		選	経営	2		
					生産管理論	4	選		選	経営	3・4		
				「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	2	
						哲学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	2	
						倫理学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	2	
					倫理学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	2		
					宗教学Ⅰ	2	選必		選必	教職	2		
					宗教学Ⅱ	2	選必		選必	教職	2		
					心理学概論Ⅰ	2			選必	教職	1		
					心理学概論Ⅱ	2			選必	教職	1		
	1科目2単位以上 選択必修												
	修得が必要な単位数					28	36	36					

教育学部での

取得可能免許状について

教育学部では各学科において以下の免許状が取得できます。

教育学科 . . . 中学校教諭「社会」／高等学校教諭「地理歴史」「公民」
児童教育学科 . . . 小学校教諭／幼稚園教諭／特別支援学校教諭

それぞれの学科において自学科の免許以外に以下の免許状を取得できる道を開いています。なお、取得可能な人数は免許状ごとに限りがありますので、希望者が多数の場合には選考を行うことがあります。

教育学科

小学校教諭／幼稚園教諭／特別支援学校教諭／
中学校教諭「英語」／高等学校教諭「英語」

児童教育学科

中学校「社会」「英語」／高等学校教諭「地理歴史」「公民」「英語」

それぞれの免許状取得のための科目表は次ページ以降を参照してください。

なお、他学科の免許状取得のための科目は自学科の卒業単位にはならない可能性があります。

卒業単位に含まれるかどうかは教務課に確認してください。

教育学部 | 教育学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

教育：教育学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	1科目以上 選択必修	2	共通	
	コンピュータリテラシー II		2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況				
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間割	開講 年次	修得 年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教育	2	必	必	必	教育	1			
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育学概論Ⅰ:教育	1科目以上 選択必修	2	選必	選必	選必	教育	1		
			教育学概論Ⅱ:教育		2	選必	選必	選必	教育	1		
			教育心理学Ⅰ:教育	3	必	必	必	教育	2			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育行財政学:教育	2	必	必	必	教育	2			
			社会科教育法Ⅰ	2	必			教職	2			
			社会科教育法Ⅱ(地歴科含む)	2	必	必		教職	2			
			社会科教育法Ⅲ(公民科含む)	2	必		必	教職	3			
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2			
			公民科教育法	2			必	教職	2			
			道徳教育論:教育	2	必			教育	3			
			特別活動:教育	2	必	必	必	教育	2			
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法学	3	必	必	必	教育	3			
			生徒・進路指導論:教育	2	必	必	必	教育	2			
第六欄	教職実践演習		教育カウンセリング:教育	2	必	必	必	教育	3			
			教育実践演習(中・高)	5	必			教育	4			
			教育実践演習(高)	3		必	必	教育	4			
			教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教育	4			

修得が必要な単位数

33 27 27



教科に関する科目

2015 (H27) 年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会

高1 地歴

高1 公民

【中学校1種 社会】 【高等学校1種 地理歴史】 【高等学校1種 公民】

法令科目区分		教 職					学 部		修得状況		
		科目名	単位	中1	高1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
社会	地理歴史			公民							
中学校1種 社会	高等学校1種 地理歴史	日本史及び外国史	日本史 I	2	必	必	教職	2			
			日本史 II	2	必	必	教職	2			
			教育学特講B	2	選	選	教育	3			
			民俗学 I	2	選	選	教職	3			
			民俗学 II	2	選	選	教職	3			
			教育史A	2	選	選	教育	1			
		外国史	外国史 I (西洋史)	2	必	必	教職	2			
			外国史 II (東洋史)	2	必	必	教職	2			
			西洋文化史	2	選	選	教職	2			
			西洋社会史	2	選	選	教職	2			
			東洋文化史 I	2	選	選	教職	2			
			東洋文化史 II	2	選	選	教職	2			
			教育史B	2	選	選	教育	1			
			人文地理学及び自然地理学	地理学 I	2	必	必	教職	2		
				地理学 II	2	必	必	教職	2		
	人文地理学	2		選	必	教職	3				
	地誌	自然地理学	2	選	必	教職	3				
		地誌学	2	必	必	教職	3				
	高等学校1種 公民	「法学、政治学」	法学	2	必	必	教職	2			
			政治学原論	4	選	必	教職	2			
		「社会学、経済学」	社会学概論	2	必	必	教職	2			
			教育社会学	2	選	選	教育	2			
			生涯学習概論	2	選	選	教育	1			
			社会教育概論	2	選	選	教育	1			
			社会教育計画 I	2	選	選	教育	2			
			社会教育計画 II	2	選	選	教育	2			
			社会教育特講A	2	選	選	教育	2			
			社会教育特講B	2	選	選	教育	3			
			社会教育演習	4	選	選	教育	3			
			社会教育課題研究 I	2	選	選	教育	3			
			社会教育課題研究 II	2	選	選	教育	3			
			比較・国際教育学A	2	選	選	教育	3			
			比較・国際教育学B	2	選	選	教育	3			
情報教育論			2	選	選	教育	3				
「哲学、倫理学、宗教学」			「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論 I	2	選必	選必	教職	3		
				哲学概論 II	2	選必	選必	教職	3		
	倫理学概論 I	2		選必	選必	教職	2				
	倫理学概論 II	2		選必	選必	教職	2				
	宗教学 I	2		選必	選必	教職	2				
	宗教学 II	2		選必	選必	教職	2				
	心理学概論 I	2			選必	教育	1				
	心理学概論 II	2			選必	教育	1				
修得が必要な単位数			28	36	36						

教育学部 | 教育学科 【英語】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

教育：教育学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況		
			科目名	単位	中1 英語	高1 英語	時間割	開講年次	修得年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教育	2	必	必	教育	1			
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育学概論Ⅰ:教育	1科目以上 選択必修	2	選必	選必	教育	1		
			教育学概論Ⅱ:教育		2	選必	選必	教育	1		
			教育心理学Ⅰ:教育	3	必	必	教育	2			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育行財政学:教育	2	必	必	教育	2			
			英語科教育法Ⅰ	2	必	必	教職	2			
			英語科教育法Ⅱ	2	必	必	教職	2			
			英語科教育法Ⅲ	2	必	必	教職	3			
			英語科教育法Ⅳ	2			教職	3			
			道徳教育論:教育	2	必		教育	3			
			特別活動:教育	2	必	必	教育	2			
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法学	3	必	必	教育	3			
			生徒・進路指導論:教育	2	必	必	教育	2			
第六欄	教育実践演習		教育カウンセリング:教育	2	必	必	教育	3			
			教育実習(中・高)	5	必		教育	4			
			教育実習(高)	3		必	教育	4			
			教職実践演習(中・高)	2	必	必	教育	4			
修得が必要な単位数					33	29					



教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 英語

高1 英語

【中学校1種 英語】 【高等学校1種 英語】

法令科目区分	教 職				学 部		修得状況		
	科目名	単位	中1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
			英語	英語					
英語学	英語学概論Ⅰ	2	必	必	人間	1			
	英語学概論Ⅱ	2	必	必	人間	1			
	英語音声学	2	選	選	人間	2			
	英文法研究Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	英文法研究Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	日英語比較概説	2	選	選	人間	1			
	日英語比較研究	2	選	選	人間	2			
	英語語用論	2	選	選	人間	2			
	Second Language Acquisition Basic	2	選	選	人間	1			
	Second Language Acquisition Advanced	2	選	選	人間	2			
	Second Language Classrooms	2	選	選	人間	3			
	Teaching and Testing Materials	2	選	選	人間	3			
	Teaching Academic English	2	選	選	人間	3			
	中・古期英語史と文化	2	選	選	人間	2			
	近代英語史と文化	2	選	選	人間	2			
	認知英語学Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	認知英語学Ⅱ	2	選	選	人間	2			
英米文学	英米文学概論Ⅰ	2	必	必	人間	2			
	英米文学概論Ⅱ	2	必	必	人間	2			
	イギリス小説・散文研究	2	選	選	人間	3			
	英米児童文学研究	2	選	選	人間	3			
	アメリカ小説・散文研究	2	選	選	人間	3			
	英米文学講読Ⅰ	2	選	選	人間	2			
	英米文学講読Ⅱ	2	選	選	人間	2			
	神話・聖書と文学	2	選	選	人間	2			
	演劇入門	2	選	選	人間	2			
	演劇論	2	選	選	人間	3			
	アメリカ古典文学史	2	選	選	人間	2			
	アメリカ近代文学史	2	選	選	人間	2			
	イギリス古典文学史	2	選	選	人間	2			
	イギリス近代文学史	2	選	選	人間	2			
英語コミュニケーション	Oral Communication in English I	1科目 1単位以上 選択必修	選必	選必	人間	1・2			
	Oral Communication in English II		選必	選必	人間	1・2			
	Translation Basic I	2	選	選	人間	1・2			
	Translation Basic II	2	選	選	人間	1・2			
	英語特講A	2	選	選	人間	2			
	英語特講B	2	選	選	人間	2			
異文化理解	比較文化Ⅰ	2科目 4単位 いずれか 選択必修	選必	選必	人間	1			
	比較文化Ⅱ		選必	選必	人間	1			
	Intercultural Communication		2	選必	選必	人間	2		
	Global Communication		2	選必	選必	人間	2		
修得が必要な単位数			28	36					

※ 上記科目は他学科（人間学科）の科目ですが、他学科専門科目にならない科目があります。詳しくは、履修要項もしくは教務課に確認してください。

教育学部 | 教育学科 【小学校・幼稚園】

記号の説明

必 … 教職必修科目

選必 … 教職選択必修科目

選択 … 選択科目

■ … 免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

児教：児童教育学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシーⅠ } コンピュータリテラシーⅡ }	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況		
			科目名	単位	小1	幼1	時間割 開講 年次	修得 年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:児教	2	必	必	児教	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	初等教育原理Ⅰ } 初等教育原理Ⅱ }	1科目以上 選択必修	2	選必	選必	児教	1	
			教育心理学		2	必	必	児教	2	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・教育課程の意義及び編成の方法 ・保育内容の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育行財政学:児教	2	必	必	児教	2		
			国語科教育	2	必		児教	2		
			社会科教育	2	必		児教	2		
			算数科教育	2	必		児教	2		
			理科教育	2	必		児教	2		
			生活科教育	2	必		児教	1		
			音楽科教育	2	必		児教	2		
			図工科教育	2	必		児教	1		
			体育科教育	2	必		児教	1		
			家庭科教育	2	必		児教	1		
			道徳教育論:児教	2	必		児教	3		
			特別活動	2	必		児教	2		
			教育方法論:児教	2	必		児教	3		
			保育内容総論Ⅰ	2		必	児教	1		
			保育内容総論Ⅱ	2		必	児教	2		
			保育内容A(健康)	2		必	児教	2		
			保育内容B(人間関係)	2		必	児教	2		
保育内容C(環境)	2		必	児教	2					
保育内容D(言葉)	2		必	児教	2					
保育内容E(音楽表現)	2		必	児教	2					
保育内容F(造形表現)	2		必	児教	2					
保育方法論	2		必	児教	2					
第五欄	教育実習	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:児教	2	必		児教	2		
			教育カウンセリング:児教	2	必		児教	3		
			幼児理解と教育相談	2		必	児教	2		
			教育実習(幼・小)	5	必	必	児教	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(幼・小)	2	必	必	児教	4		
修得が必要な単位数					43	34				

※ 幼稚園1種免許取得に必要な「保育内容の指導法」は小学校1種免許と幼稚園1種免許を同時に取得する場合、3科目6単位の取得でよい。ただしこの場合、小学校免許が取得できなくなった場合には6科目12単位の取得が必要となる。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

		【小学校1種】 【幼稚園1種】				学 部		修得状況					
小学校1種	幼稚園1種	教 職				時 間 割	開 講 年 次	修 得 年 次	成 績				
法令科目区分		科目名	単 位	小1	幼1								
小学校1種	幼稚園1種	国語(書写を含む。)	国語	日本語論	2	※	1科目 2単位 以上	※	※印から 2教科 4単位 以上	児教	1		
				文学を読む	2	※		※		児教	2		
				子供と文学	2	※		※		児教	1		
				書写	2	※		選		児教	2		
		算数	算数	数の概念	2	※	1科目 2単位 以上	※	※	児教	1		
				図形	2	※		※		児教	1		
				数量関係	2	※		※		児教	2		
				確率と統計	2	※		※		児教	2		
		生活	生活	生活科学	2		選	※		児教	2		
		音楽	音楽	音楽入門	1	※	2単位 以上	※	2単位 以上	児教	1		
				音楽概論	2	※		※		児教	1		
				ピアノ入門	1	※		※		児教	2		
				音楽基礎演習(ピアノ)	1	※		※		児教	2		
				音楽実技表現	1	※		※		児教	1		
				音楽演習	1	※		※		児教	2		
		図画工作	図画工作	リトミック	1	※	1科目 2単位 以上	※	1教科 2単位 以上	児教	2		
				美術の基本	2	※		※		児教	1		
				立体表現基礎	2	※		※		児教	1		
				平面表現基礎	2	※		※		児教	1		
		体育	体育	表現と鑑賞	2	※	2単位 以上	※	2単位 以上	児教	1		
				体育概論	2	※		※		児教	1		
				自然体験	1	※		※		児教	1		
				器械・陸上運動	1	※		※		児教	1		
				表現運動	2	※		※		児教	2		
				体づくり運動	1	※		※		児教	1		
		社会		ボール・ゲーム	1	※	1科目 2単位 以上	※		児教	2		
				社会科概説	2	※		※		児教	1		
				政治経済学概論	2	※		※		児教	3		
地理学概説	2			※	※	児教		2					
理科		歴史学概論	2	※	1科目 2単位 以上	※		児教	2				
		生物の世界	2	※		※		児教	1				
		環境科学	2	※		※		児教	3				
		地球の生態系	2	※		※		児教	2				
		エネルギー科学基礎	2	※		※		児教	1				
		理科実習	2	※		※		児教	2				
家庭		家庭科学	2		選			児教	2				

★	免許法施行規則に定める科目区分	科目名	単 位	小1	幼1	時間割	開講年次	修得年次	成績
	教科又は教職に関する科目	小学校の英語教育	2	必		児教	3		

修得が必要な単位数	18	16
-----------	----	----

教育学部 | 児童教育学科 【小学校・幼稚園】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

■ …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

児教：児童教育学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピューターリテラシーⅠ コンピューターリテラシーⅡ	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況	
			科目名	単位	小1	幼1	時間割 開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:児教	2	必	必	児教	1	
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	初等教育原理Ⅰ	2	選必	選必	児教	1	
			初等教育原理Ⅱ						
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法	教育心理学	2	必	必	児教	2	
			教育行財政学:児教	2	必	必	児教	2	
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・教育課程の意義及び編成の方法 ・保育内容の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育	2	必		児教	2	
			社会科教育	2	必		児教	2	
			算数科教育	2	必		児教	2	
			理科教育	2	必		児教	2	
			生活科教育	2	必		児教	1	
			音楽科教育	2	必		児教	2	
			図工科教育	2	必		児教	1	
			体育科教育	2	必		児教	1	
			家庭科教育	2	必		児教	1	
			道徳教育論:児教	2	必		児教	3	
			特別活動	2	必		児教	2	
			教育方法論:児教	2	必		児教	3	
			保育内容総論Ⅰ	2		必	児教	1	
			保育内容総論Ⅱ	2		必	児教	2	
保育内容A(健康)	2		必	児教	2				
保育内容B(人間関係)	2		必	児教	2				
保育内容C(環境)	2		必	児教	2				
保育内容D(言葉)	2		必	児教	2				
保育内容E(音楽表現)	2		必	児教	2				
保育内容F(造形表現)	2		必	児教	2				
保育方法論	2		必	児教	2				
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:児教	2	必		児教	2	
			教育カウンセリング:児教	2	必		児教	3	
			幼児理解と教育相談	2		必	児教	2	
			教育実習	5	必	必	児教	4	
第六欄	教職実践演習	教職実践演習(幼・小)	2	必	必	児教	4		
			修得が必要な単位数	43	34				

※ 幼稚園1種免許取得に必要な「保育内容の指導法」は小学校1種免許と幼稚園1種免許を同時に取得する場合、3科目6単位の取得でよい。ただしこの場合、小学校免許が取得できなくなった場合には6科目12単位の取得が必要となる。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

		【小学校1種】 【幼稚園1種】				学 部		修得状況					
小学校1種	幼稚園1種	教 職				時 間 割	開 講 年 次	修 得 年 次	成 績				
法令科目区分		科目名	単 位	小1	幼1								
小学校1種	幼稚園1種	国語(書写を含む。)	国語	日本語論	2	※	1科目 2単位 以上	※	※印から 2教科 4単位 以上	児教	1		
				文学を読む	2	※		※		児教	2		
				子供と文学	2	※		※		児教	1		
				書写	2	※		選		児教	2		
		算数	算数	数の概念	2	※	1科目 2単位 以上	※	児教	1			
				図形	2	※		※	児教	1			
				数量関係	2	※		※	児教	2			
				確率と統計	2	※		※	児教	2			
		生活	生活	生活科学	2		選	※	児教	2			
		音楽	音楽	音楽入門	1	※	2単位 以上	※	2単位 以上	児教	1		
				音楽概論	2	※		※		児教	1		
				ピアノ入門	1	※		※		児教	2		
				音楽基礎演習(ピアノ)	1	※		※		児教	2		
				音楽実技表現	1	※		※		児教	1		
				音楽演習	1	※		※		児教	2		
				リトミック	1	※		※		児教	2		
		図画工作	図画工作	美術の基本	2	※	1科目 2単位 以上	※	1教科 2単位 以上	児教	1		
				立体表現基礎	2	※		※		児教	1		
				平面表現基礎	2	※		※		児教	1		
				表現と鑑賞	2	※		※		児教	1		
		体育	体育	体育概論	2	※	2単位 以上	※	2単位 以上	児教	1		
				自然体験	1	※		※		児教	1		
				器械・陸上運動	1	※		※		児教	1		
				表現運動	2	※		※		児教	2		
				体づくり運動	1	※		※		児教	1		
				ボール・ゲーム	1	※		※		児教	2		
		社会		社会科概説	2	※	1科目 2単位 以上		児教	1			
				政治経済学概論	2	※		児教	3				
地理学概説	2			※	児教	2							
歴史学概論	2			※	児教	2							
理科		生物の世界	2	※	1科目 2単位 以上		児教	1					
		環境科学	2	※		児教	3						
		地球の生態系	2	※		児教	2						
		エネルギー科学基礎	2	※		児教	1						
		理科実習	2	※		児教	2						
家庭		家庭科学	2		選		児教	2					
★	免許法施行規則に定める科目区分	科目名	単 位	小1	幼1	時間割	開講年次	修得年次	成績				
	教科又は教職に関する科目	小学校の英語教育	2	必		児教	3						

修得が必要な単位数	18	16
-----------	----	----

教育学部 | 児童教育学科 【社会・地理歴史・公民】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

教育：教育学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I コンピュータリテラシー II	2 2	共通 共通	1科目以上 選択必修	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況			
			科目名	単位	中1 社会	高1 地理 歴史	高1 公民	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教育	2	必	必	必	教育	1			
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育学概論Ⅰ:教育	1科目以上 選択必修	2	選必	選必	選必	教育	1		
			教育学概論Ⅱ:教育		2	選必	選必	選必	教育	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育行財政学:教育	2	必	必	必	教育	2			
			社会科教育法Ⅰ	2	必			教職	2			
			社会科教育法Ⅱ(地歴科含む)	2	必	必		教職	2			
			社会科教育法Ⅲ(公民科含む)	2	必		必	教職	3			
			地理歴史科教育法	2		必		教職	2			
			公民科教育法	2			必	教職	2			
			道徳教育論:教育	2	必			教育	3			
			特別活動:教育	2	必	必	必	教育	2			
			教育方法	2	必	必	必	教職	3			
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教育	2	必	必	必	教育	2	
教育実習	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育カウンセリング:教育	2	必	必	必	教育	3				
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必			教育	4			
			教育実習(高)	3		必	必	教育	4			
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教育	4			
修得が必要な単位数					31	25	25					



教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会

高1 地歴

高1 公民

【中学校1種 社会】 【高等学校1種 地理歴史】 【高等学校1種 公民】

法令科目区分		教 職					学 部		修得状況		
		科目名	単位	中1	高1	高1	時間割	開講年次	修得年次	成績	
社会	地理歴史			公民							
中学校1種 社会	日本史及び外国史	日本史	日本史Ⅰ	2	必	必		教職	2		
			日本史Ⅱ	2	必	必		教職	2		
			教育学特講B	2	選	選		教育	3		
			民俗学Ⅰ	2	選	選		教職	3		
			民俗学Ⅱ	2	選	選		教職	3		
			教育史A	2	選	選		教育	1		
		外国史	外国史Ⅰ(西洋史)	2	必	必		教職	2		
			外国史Ⅱ(東洋史)	2	必	必		教職	2		
			西洋文化史	2	選	選		教職	2		
			西洋社会史	2	選	選		教職	2		
			東洋文化史Ⅰ	2	選	選		教職	2		
			東洋文化史Ⅱ	2	選	選		教職	2		
			教育史B	2	選	選		教育	1		
			人文地理学及び自然地理学	地理学Ⅰ	2	必	必		教職	2	
	地理学Ⅱ	2		必	必		教職	2			
	人文地理学	2		選	必		教職	3			
	自然地理学	2		選	必		教職	3			
	地誌	地誌学	2	必	必		教職	3			
		高等学校1種 公民	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	必		必	教職	2	
	政治学原論		4	選		必	教職	2			
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」		社会学概論	2	必		必	教職	2		
			教育社会学	2	選		選	教育	2		
			生涯学習概論	2	選		選	教育	1		
			社会教育概論	2	選		選	教育	1		
			社会教育計画Ⅰ	2	選		選	教育	2		
			社会教育計画Ⅱ	2	選		選	教育	2		
			社会教育特講A	2	選		選	教育	2		
			社会教育特講B	2	選		選	教育	3		
社会教育演習			4	選		選	教育	3			
社会教育課題研究Ⅰ			2	選		選	教育	3			
社会教育課題研究Ⅱ			2	選		選	教育	3			
比較・国際教育学A			2	選		選	教育	3			
比較・国際教育学B		2	選		選	教育	3				
情報教育論	2	選		選	教育	3					
「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	3			
		哲学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	3			
		倫理学概論Ⅰ	2	選必		選必	教職	2			
		倫理学概論Ⅱ	2	選必		選必	教職	2			
		宗教学Ⅰ	2	選必		選必	教職	2			
		宗教学Ⅱ	2	選必		選必	教職	2			
		心理学概論Ⅰ	2			選必	教育	1			
		心理学概論Ⅱ	2			選必	教育	1			

1科目2単位以上
選択必修

修得が必要な単位数	28	36	36
-----------	----	----	----

教育学部 | 児童教育学科 【英語】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

…免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

人間：人間学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	1科目以上 選択必修	2	共通	
	コンピュータリテラシー II		2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況		
			科目名	単位	中1 英語	高1 英語	時間割	開講年次	修得年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教育	2	必	必	教育	1			
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育学概論Ⅰ:教育	1科目以上 選択必修	2	選必	選必	教育	1		
			教育学概論Ⅱ:教育		2	選必	選必	教育	1		
			教育心理	2	必	必	教職	1			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育行財政学:教育	2	必	必	教育	2			
			英語科教育法Ⅰ	2	必	必	教職	2			
			英語科教育法Ⅱ	2	必	必	教職	2			
			英語科教育法Ⅲ	2	必	必	教職	3			
			英語科教育法Ⅳ	2			教職	3			
			道徳教育論:教育	2	必		教育	3			
			特別活動:教育	2	必	必	教育	2			
教育方法	2	必	必	教職	3						
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教育	2	必	必	教育	2			
			教育カウンセリング:教育	2	必	必	教育	3			
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必		教育	4			
			教育実習(高)	3		必	教育	4			
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	教育	4			

修得が必要な単位数

31 27



教科に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 英語

高1 英語

【中学校1種 英語】 【高等学校1種 英語】

法令科目区分	教 職		学 部		修得状況			
	科目名	単 位	中1 英語	高1 英語	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
英語学	英語学概論 I	2	必	必	人間	1		
	英語学概論 II	2	必	必	人間	1		
	英語音声学	2	選	選	人間	2		
	英文法研究 I	2	選	選	人間	2		
	英文法研究 II	2	選	選	人間	2		
	日英語比較概説	2	選	選	人間	1		
	日英語比較研究	2	選	選	人間	2		
	英語語用論	2	選	選	人間	2		
	Second Language Acquisition Basic	2	選	選	人間	1		
	Second Language Acquisition Advanced	2	選	選	人間	2		
	Second Language Classrooms	2	選	選	人間	3		
	Teaching and Testing Materials	2	選	選	人間	3		
	Teaching Academic English	2	選	選	人間	3		
	中・古期英語史と文化	2	選	選	人間	2		
	近代英語史と文化	2	選	選	人間	2		
	認知英語学 I	2	選	選	人間	2		
	認知英語学 II	2	選	選	人間	2		
	英米文学	英米文学概論 I	2	必	必	人間	2	
英米文学概論 II		2	必	必	人間	2		
イギリス小説・散文研究		2	選	選	人間	3		
英米児童文学研究		2	選	選	人間	3		
アメリカ小説・散文研究		2	選	選	人間	3		
英米文学購読 I		2	選	選	人間	2		
英米文学購読 II		2	選	選	人間	2		
神話・聖書と文学		2	選	選	人間	2		
演劇入門		2	選	選	人間	2		
演劇論		2	選	選	人間	3		
アメリカ古典文学史		2	選	選	人間	2		
アメリカ近代文学史		2	選	選	人間	2		
イギリス古典文学史		2	選	選	人間	2		
イギリス近代文学史		2	選	選	人間	2		
英語コミュニケーション	Oral Communication in English I	1	選必	選必	人間	1・2		
	Oral Communication in English II	1	選必	選必	人間	1・2		
	Translation Basic I	2	選	選	人間	1・2		
	Translation Basic II	2	選	選	人間	1・2		
	英語特講A	2	選	選	人間	2		
	英語特講B	2	選	選	人間	2		
異文化理解	比較文化 I	2	選必	選必	人間	1		
	比較文化 II	2	選必	選必	人間	1		
	Intercultural Communication	2	選必	選必	人間	2		
	Global Communication	2	選必	選必	人間	2		
修得が必要な単位数			28	36				

※ 上記科目は他学科（人間学科）の科目ですが、他学科専門科目にならない科目があります。詳しくは、履修要項もしくは教務課に確認してください。

記号の説明

必 …教職必修科目

選択 …選択科目

時間割説明

児教：児童教育学科の専門科目

● 特別支援教諭免許状について

特別支援教諭免許状は、基礎免許状（幼稚園・小学校・中学校・高等学校のいずれかの教員免許状）取得が前提条件となります。よって教育学部で登録できるいずれかの教職課程に登録し、基礎免許取得を目指します。あわせて特別支援教諭免許取得のための科目（「特別支援教育に関する科目」P.49）を修得します。

特別支援教諭免許課程は、登録者20名限定となっています。登録希望者は以下の要件を満たす必要があります。

1. 1年次に「特別支援教育概論」を修得すること
2. 1年次の通算GPAが3.0以上あること

登録希望者が20名を超えた場合は、選考となります。

選考方法は、

- ①「特別支援教育概論」の成績
- ②1年次の通算GPA
- ③面接試験

により、総合的に選考致します。

登録希望者の応募は1年次の12月頃にポータルサイトにて案内をします。

特

特別支援教育 に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

知的障害者
特支1種 肢体不自由者
病弱者

法令科目区分

特別支援1種

科目名	単位	特支1	学 部		修得状況		
			時間割	開講年次	修得年次	成績	
特別支援教育の基礎理論に関する科目							
特別支援教育概論	2	必	児教	1			
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	2	必	児教	3		
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	必	児教	3		
	障害者の心理・生理・病理A	2	必	児教	3		
	障害者の心理特論	2	必	児教	4		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2	必	児教	2		
	知的障害教育 I	2	必	児教	3		
	知的障害教育 II	2	必	児教	3		
	肢体不自由教育総論	2	必	児教	3		
免許法に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	病弱教育総論	2	必	児教	3		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	2	必	児教	2		
	障害者の心理・生理・病理B	2	必	児教	3		
	LD等の心理・生理・病理	2	必	児教	3		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2	必	児教	2		
視覚・聴覚障害教育総論	2	必	児教	2			
LD等教育総論	2	必	児教	2			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	2	選	児教	4		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目						
特別支援教育特論	2	選	児教	4			
教育実習(特別支援)	3	必	児教	4			
修得が必要な単位数		29					

理工学部 | 情報システム工学科【数学・情報】

記号の説明

必 …教職必修科目

選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目

■ …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

情報：情報システム工学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	1科目以上 選択必修	共通		
	コンピュータリテラシー II				

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職			学 部		修得状況			
			科目名	単位	中1 数学	高1 数学	高1 情報	時間割 開講 年次	修得 年次	成績	
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育原論	2	必	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	数学科教育法 I	2	必	必		教職	2		
			数学科教育法 II	2	必	必		教職	2		
			数学科教育法 III	2	必	必		教職	3		
			数学科教育法 IV	2				教職	3		
			情報科教育法 I				必		2		
			情報科教育法 II	2			必	教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	必	教職	2		
教育方法	2	必	必	必	教職	3					
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒・進路指導論:教職	2	必	必	必	教職	2		
			教育相談	2	必	必	必	教職	2		
第五欄	教育実習		教育実習(中・高)	5	必			教職	4		
			教育実習(高)	3		必	必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	必	教職	4		
修得が必要な単位数					31	27	25				

※「教職概論」は情報システム工学科の時間割に記載されているものを履修すること。

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 数学

高1 数学

【中学校1種 数学】 【高等学校1種 数学】

法令科目区分		教 職		学 部		修得状況			
		科目名	単位	中1 数学	高1 数学	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
中学校1種・高等学校1種 数学	代数学	代数学概論	2	必	必	情報	3		
		線型代数学Ⅰ	2	選	選	情報	1		
		論理と集合	2	選	選	情報	2		
		数学演習Ⅰ	2	選	選	情報	1		
	幾何学	幾何学概論	2	必	必	情報	2		
		線型代数学Ⅱ	2	選	選	情報	1		
		位相数学	2	選	選	情報	3		
		常微分方程式	2	選	選	情報	2		
	解析学	微積分学Ⅰ	2	必	必	情報	1		
		微積分学Ⅱ	2	必	必	情報	1		
		複素関数論	2	必	必	情報	2		
		数値解析	2	選	選	情報	2		
		人工知能	2	選	選	情報	3		
		数理計画法	2	選	選	情報	2		
		数学演習Ⅱ	2	選	選	情報	1		
		「確率論、統計学」	確率統計	2	必	必	情報	2	
コンピュータ	データ解析	2	選	選	情報	3			
	プログラミング演習Ⅰ	2	必	必	情報	1			
	ソフトウェア演習A	2	選	選	情報	2			
	デジタル回路基礎論	2	選	選	情報	2			
	計算機アーキテクチャ	2	選	選	情報	2			
	情報システムモデリング	2	選	選	情報	3			
修得が必要な単位数			28	36					

高1 情報

【高等学校1種 情報】

法令科目区分		教 職		学 部		修得状況		
		科目名	単位	高1 情報	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
中学校1種・高等学校1種 情報	情報社会及び情報倫理	情報社会論	2	必	情報	1		
		知的財産法概論	2	選	情報	3		
		情報システム総論	2	選	情報	1		
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	言語処理アルゴリズム	2	必	情報	2		
		ソフトウェア工学	2	必	情報	3		
		プログラミング演習Ⅱ	2	選	情報	1		
		ハードウェア基礎論	2	選	情報	2		
		制御工学	2	選	情報	2		
		情報計測工学	2	選	情報	2		
		情報システム(実習を含む。)	オペレーティングシステム	2	必	情報	2	
		データ構造	2	選	情報	2		
		意思決定支援システム論	2	選	情報	3		
		ソフトウェア演習C	2	選	情報	3		
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	コンピュータネットワーク論Ⅰ	2	必	情報	3		
		ネットワーク実験	2	選	情報	3		
		ソフトウェア演習B	2	選	情報	2		
		コンピュータネットワーク論Ⅱ	2	選	情報	3		
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	信号理論	2	選	情報	3		
		マルチメディア演習	2	必	情報	3		
		シミュレーション論	2	選	情報	3		
マルチメディア論		2	選	情報	3			
情報と職業	情報と職業	2	必	情報	3~4			
修得が必要な単位数			36					

理工学部 | 共生創造理工学科 【理科】

記号の説明

必 …教職必修科目 選必 …教職選択必修科目

選択 …選択科目 ■ …免許取得に使用できない科目

時間割説明

共通：共通科目

教職：教員免許状取得のための特設課程科目

共生：共生創造理工学科の専門科目

A

66条の6科目

2015(H27)年度入学生適用

法令科目区分	科目名	単位	時間割	修得	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	共通		
体育	履修要項P49掲載の「④健康体育科目」の中から、実技1単位以上、講義2単位以上	実技1	共通		
		講義2	共通		
外国語コミュニケーション	履修要項P46～47掲載の「③言語科目(第1外国語)」の科目の中から2単位以上	2	共通		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I コンピュータリテラシー II	1科目以上 選択必修	2	共通	
			2	共通	

B

教職に関する科目

2015(H27)年度入学生適用

複数の免許を取得する場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	法令科目区分	各科目に含める必要事項	教 職				学 部		修得状況	
			科目名	単位	中1 理科	高1 理科	時間割	開講 年次	修得 年次	成績
第二欄	教育の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論:教職	2	必	必	教職	1		
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育原論	2	必	必	教職	1		
			教育心理	2	必	必	教職	1		
			教育行政	2	必	必	教職	3		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法 I	2	必	必	教職	2		
			理科科教育法 II	2	必	必	教職	2		
			理科科教育法 III	2	必	必	教職	3		
			理科科教育法 IV	2			教職	3		
			道徳教育論	2	必		教職	2		
			特別活動:教職	2	必	必	教職	2		
第五欄	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育方法	2	必	必	教職	3		
			生徒・進路指導論:教職	2	必	必	教職	2		
第五欄	教育実習		教育相談	2	必	必	教職	2		
			教育実習(中・高)	5	必		教職	4		
第五欄	教育実習		教育実習(高)	3		必	教職	4		
			教職実践演習	2	必	必	教職	4		
第六欄	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必	必	教職	4		
				修得が必要な単位数		31	27			

※「教職概論」は共生創造理工学科の時間割に記載されているものを履修すること。

中1 理科

高1 理科

【中学校1種 理科】 【高等学校1種 理科】

法令科目区分	科目名	単位	教 職		学 部		修得状況	
			中1 理科	高1 理科	時間 割	開講 年次	修得 年次	成績
中学校1種・高等学校1種 理科	物理学	物理学A(基礎力学)	2	必	必	共生	1	
	物理学B(基礎電磁気学)	2	必	必	共生	1		
	物理化学A	2	必	必	共生	2		
	光学	2	必	必	共生	2		
	物理化学B	2	選	選	共生	3		
	統計熱力学	2	選	選	共生	3		
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験	2	必	必	共生	2	
	化学	化学A	2	必	必	共生	1	
	化学B	2	必	必	共生	1		
	有機化学 I	2	選	選	共生	2		
	分析化学	2	選	選	共生	2		
	無機化学	2	選	選	共生	3		
	有機化学 II	2	選	選	共生	2		
	生化学	2	選	選	共生	2		
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験	2	必	必	共生	1	
	生物学	生物学A	2	必	必	共生	1	
	生物学B	2	必	必	共生	1		
	生態学	2	選	選	共生	2		
	細胞生物学	2	選	選	共生	2		
	分子生物学	2	選	選	共生	2		
	微生物学	2	選	選	共生	2		
	免疫科学	2	選	選	共生	3		
	多様性生物学	2	選	選	共生	2		
	発生生物学	2	選	選	共生	3		
	機能生理学	2	選	選	共生	3		
	植物生理生態学	2	選	選	共生	2		
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験	2	必	必	共生	2	
	自然観察実習	2	選	選	共生	2		
	地学	地球科学概論	2	必	必	共生	2	
	地球化学	2	選	選	共生	3		
土壌学	2	選	選	共生	3			
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地球科学実験	2	必	必	共生	3		
海洋学実習	2	選	選	共生	3			
修得が必要な単位数			28	36				

9 学校インターンシップについて

(1) 学校インターンシップの概要

「学校インターンシップ」は、本学と教育委員会との間で協定を結び、平成 13 年度から実施されている科目です。年間を通じて、毎週特定の曜日に小学校または中学校を訪問し、教員とのチームティーチングによる学習指導補助や放課後の補充学習等を行います。

学校インターンシップは、教員の仕事、実際の教育現場の現状を体験できる絶好の場となります。また、自身が教員に適しているのかどうかを判断する一助にもなります。

特に、教員採用試験を受験する方にとっては、学校インターンシップや学校ボランティアでの現場経験が不可欠であり、さらに、より長期的で充実した現場経験を通して、教員としての資質を磨いていくことが求められています。

(2) 実施地域

八王子市・羽村市・あきる野市・立川市・昭島市・多摩市・相模原市 の教育委員会と協定を結んでおります

(3) 対象

- 全学部の教職課程履修者。
- 教育学科、児童教育学科の学生は自学科の専門科目「学校研究」を履修済みであること。

※「学校インターンシップ」は 2～4 年次に履修が可能です。

(4) 手続き

- 4 月に「学校インターンシップ募集ガイダンス」を行いますので、希望者は必ず出席してください。学校インターンシップは、1 年間行うのが原則です。ただし、大学の授業の関係でやむを得ず後期しか行えない場合は、9 月にも募集ガイダンスを行いますので、そちらに出席してください。
- 学校インターンシップの実施にあたり、各種ガイダンスや事前講義を行います。遅刻・早退・欠席すると学校インターンシップが行えなくなる場合がありますので、くれぐれも注意してください。

手続きの詳細は右ページのとおりです。

日 程	内 容
4月上旬	<p>●学校インターンシップ募集ガイダンス</p> <p>ガイダンスの前後にポータルサイトの「個人宛連絡」にて、学校インターンシップの「申込書」「学生調査書」を送信します。各自でダウンロードし、必要事項を記入の上、必ず期日までに提出してください。</p>
4月中旬	<p>●学校インターンシップ実施者ガイダンス</p> <p>学校インターンシップ実施校を発表します。 また、学校インターンシップで使用する「日誌」「出席簿」を配布します。</p>
4月下旬 ～ 5月上旬	<p>●面接・事前打ち合わせ</p> <p>受入校を訪問し、面接・事前打ち合わせを行います。 詳細は、実施者ガイダンスの際にお知らせします。</p>
5～7月	<p>学校インターンシップ実施（前期） ※前期終了時に出席簿を提出してください。</p>
9～1月	<p>学校インターンシップ実施（後期） ※後期終了時に出席簿を提出してください。</p>

(5) 学校ボランティア

学校インターンシップ同様、実際の学校現場を経験できる機会として「学校ボランティア」があります。名前が似ていますが、学校インターンシップと学校ボランティアには、いくつか相違点があるので注意が必要です。

学校インターンシップ	学校ボランティア
大学の授業科目である (2単位認定される)	大学の授業科目でない (単位認定がない)
大学が教育委員会を通じ、受入校を決定	希望者が学校に直接連絡し、受入を依頼
教職キャリアセンターが行うガイダンスへの参加、書類提出等が必要	大学が行うガイダンス等への参加は不要

10 教員採用試験について

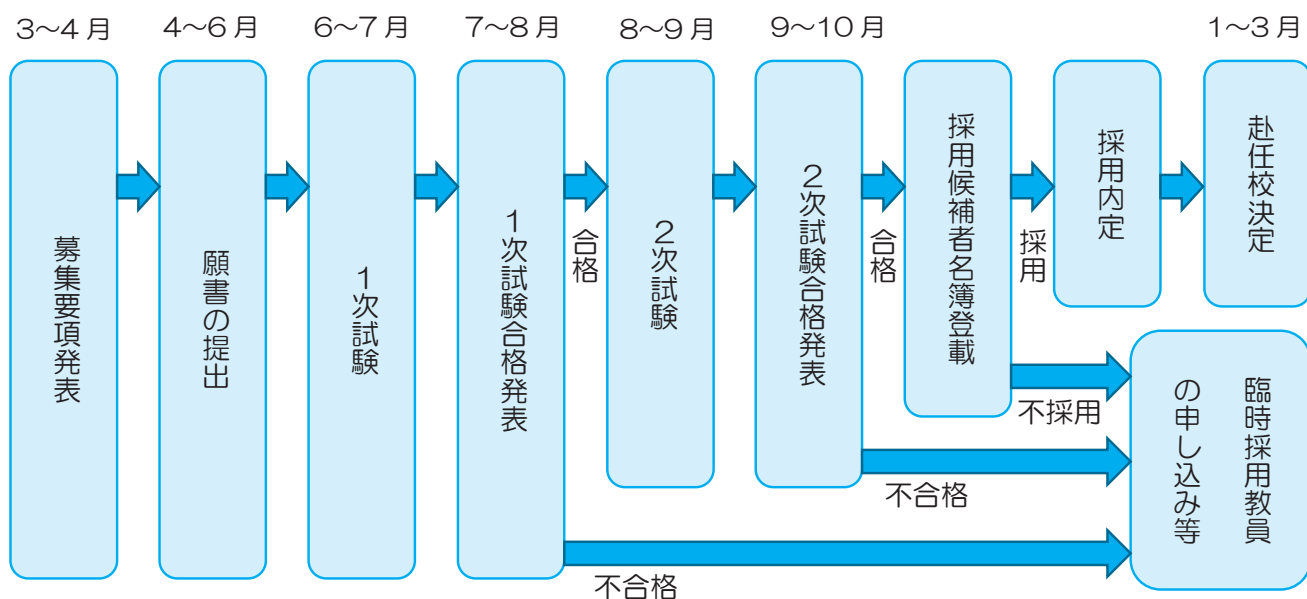
(1) 教員採用試験とは

公立学校の教員になるためには、各都道府県や政令指定都市等の教育委員会が実施する教員採用試験に合格する必要があります。採用試験の内容や実施方法は、都道府県ごとに異なるので、早め実施要領を確認してください。なお、試験はほとんどの地域で、第1次（筆記試験等）と第2次（面接試験等）に分かれています。

- ① 第1次試験
多くの地域で6月下旬～7月頃に行われ、主に筆記試験等が課されます。
- ② 第2次試験
8～9月頃に実施されます。主に面接や集団討論、論作文、実技試験等の試験が行われます。
- ③ 名簿搭載と採用面接
第2次試験合格者に対する通知（採用予定者名簿搭載）は11月頃に行われ、採用面接は翌年2月以降に実施されます。

近年は、課題が多様化する学校現場において、的確に対応できる教員が求められているため、教員採用試験においても人物を重視する傾向にあります。学内の各種講座等を積極的に利用し、早めに対策を行うようにしてください。

(2) 教員採用試験のスケジュール



(3) 臨時採用（非常勤、産休代替等）

臨時採用教員とは、正規の教員に欠員が生じた場合や、その他様々な理由で代替りの教員が必要となった場合に期限付きで任用される教員のことです。期間・条件等はそれぞれに異なりますが、貴重な実務経験を積むことができます。

(4) 教員採用試験対策講座について

本学では、教員採用試験に向けて以下のような対策講座を行っています。中には2年次から取り組めるものもあるので、積極的に活用してください。

日 程	内 容
第1次試験対策	● 教員採用試験対策講座 毎年9月より筆記試験の対策講座を行っています。 受講希望者は教職キャリアセンターからの連絡をよく確認し、必ず期限内に申し込みを行ってください。
第2次試験対策	● 「論作文・面接」対策講座 2～4月、8月に教職キャリアセンター相談室の指導講師による人物試験の対策講座を行います。少人数のクラス編成で個人面接・集団討論・論作文・模擬授業等の試験科目に対応します。 受講希望者は教職キャリアセンターからの連絡をよく確認し、必ず期限内に申し込みを行ってください。
受験地について	● 志望自治体別相談会 志望自治体別にブースを設け、教員採用試験の傾向と対策について相談会を行います。教職キャリアセンターからの連絡をよく確認し、積極的に活用してください。

(5) 私立学校の教員採用

私立学校の教員になるためには、主に以下の方法があります。

- ①各都道府県の私立学校協会が行う「私立学校教員適性検査」に合格し、採用校の面接を受ける
- ②学校関係者等から推薦や紹介をもらう
- ③大学に寄せられる求人票や広告等による公募を探す

私立学校は、一般の民間企業と同様に、それぞれ独自の方法で採用を行っています。

11 教員免許状の申請について

教員免許状は、各都道府県教育委員会が授与するものです。したがって、教員免許法に定める単位を修得した者は、原則として居住する都道府県教育委員会に申請することで教員免許状を取得することができます。

(1) 一括申請

教員免許状は、基本的には個人で教育委員会に申請するものですが、東京都には多くの大学があるため、大学が一括して東京都教育委員会に申請します。

一括申請を希望する場合は下記の手続きが必要となります。

日 程	内 容
4年次 7月	<p>●教員免許状申請ガイダンス</p> <p>本籍地（都道府県）を必ず確認してください ※現住所と同じとは限りません</p> <p>ガイダンス終了後に、「<u>介護等体験</u>」証明書のコピーを提出 なお、他の免許状を取得済みの場合は、<u>免許状のコピー</u>を提出</p>
4年次 11月	<p>●一括申請確認ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none">申請する免許状の記載事項の確認教員免許状一括申請「宣誓書」に署名・捺印 <p><持参するもの></p> <ul style="list-style-type: none">パピルスメイトで購入した証紙黒の水性ボールペン印鑑（リピート印不可） <p>教員免許状の申請手数料をパピルスメイトで納入し、発行される「<u>教員免許状一括申請 ○校種申請書</u>」を一括申請確認ガイダンスに持参する <u>申請手数料：1校種・1教科につき 3500円</u></p>
4年次 12月	大学が東京都教育委員会に一括申請
卒業式当日	免許状授与

●一括申請の要件

- ①4年次3月に卒業見込みの者
- ②教育職員免許法第5条別表第1の方法で単位を修得した者
- ③教員免許状申請に必要なすべての単位を修得している（見込み）者
- ④教育実習を実務経験で振り替えない者

(2) 個人申請

教員免許状の授与は、各自が居住する都道府県教育委員会に直接申請することができます。教育委員会によって、申請方法、申請書類等が異なりますので、申請前に必ず各教育委員会に問い合わせて、確認を行ってから手続きしてください。

なお、1～3月中は個人申請を受け付けない教育委員会もあります。また、学力に関する証明書は卒業式以降しか発行できませんので十分に注意してください。

また、個人申請の場合は手続きの関係上、3月31日付けの教員免許状の発行は困難なため、4月あるいは5月の発行となる場合があります。

12 大学院専修免許状について

(1) 専修免許状取得のための「教科又は教職に関する科目」

本学の大学院に在籍しており、すでに1種免許状をお持ちの方は、各研究科において指定された科目のうち24単位を修得すれば専修免許状を取得することができます。研究科ごとに取得できる専修免許状は決まっていますのでご注意ください。

なお、専修免許状の発行は各都道府県の教育委員会が行います。

専修免許状取得希望者は、履修前に必ず教職キャリアセンターにご相談ください。

※取得済みの1種免許状を、教育職員免許法第5条別表第1により取得した場合に限ります。第6条別表第3、第4、第8で1種免許状を取得している場合は、教職キャリアセンターにご相談ください。

研究科	専攻	免許状の種類と教科	
経済学研究科	経済学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史・公民・商業
法学研究科	法律学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	公民
文学研究科	英文学専攻	中学校教諭専修免許状	英語
		高等学校教諭専修免許状	英語
	社会学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	公民
	教育学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	公民
		小学校教諭専修免許状	
	人文学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史・公民
	国際言語教育専攻	中学校教諭専修免許状	国語・英語
高等学校教諭専修免許状		国語・英語	
工学研究科	情報システム工学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	情報
	生命情報工学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
	環境共生工学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
高等学校教諭専修免許状		理科	
教職研究科	教職専攻	小学校教諭専修免許状	

大学院生の特別履修制度について

学部在学時に1種免許状を取得しないで大学院に進学した場合でも、専修免許状を取得することができます。その場合、1種免許状に係る科目（学部の開講科目）を特別履修生として修得する必要があります。この特別履修制度を利用する場合は登録が必要です。登録期間等の詳細は、教務課にご確認ください。

なお、学部在学時に本学教職課程の登録をしていない場合は、別途「教職課程登録費」が必要となります（詳細はP4参照）。また、取得できる1種免許状は研究科により決まっています。詳しくは、教職キャリアセンターまでお問い合わせください。

● 経済学研究科

中学校専修免許状(社会)

高等学校専修免許状(地理歴史・公民)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 社会	高 地歴	高 公民	修得 年次	成績
日本経済史特論Ⅰ	2	選	選			
日本経済史特論Ⅱ	2	選	選			
近代日本経済史特論Ⅰ	2	選	選			
近代日本経済史特論Ⅱ	2	選	選			
比較経済史特論Ⅰ	2	選	選			
比較経済史特論Ⅱ	2	選	選			
西洋経済史特論Ⅰ	2	選	選			
西洋経済史特論Ⅱ	2	選	選			
経済史概論	4	選	選			
史料購読Ⅰ	2	選	選			
史料購読Ⅱ	2	選	選			
金融経済論特論Ⅰ	2	選		選		
金融経済論特論Ⅱ	2	選		選		
マクロ経済学特論	4	選		選		
ミクロ経済学特論	4	選		選		
生活経済学特論Ⅰ	2	選		選		
生活経済学特論Ⅱ	2	選		選		
時系列分析特論Ⅰ	2	選		選		
時系列分析特論Ⅱ	2	選		選		

科目名	単位	中 社会	高 地歴	高 公民	修得 年次	成績
計量経済学特論	4	選		選		
ファイナンス理論特論Ⅰ	2	選		選		
ファイナンス理論特論Ⅱ	2	選		選		
計量ファイナンス特論Ⅰ	2	選		選		
計量ファイナンス特論Ⅱ	2	選		選		
グローバル経済概論	4	選		選		
開発経済学特論Ⅰ	2	選		選		
開発経済学特論Ⅱ	2	選		選		
アフリカ経済論Ⅰ	2	選		選		
アフリカ経済論Ⅱ	2	選		選		
アジア経済論Ⅰ	2	選		選		
アジア経済論Ⅱ	2	選		選		
国際貿易論特論Ⅰ	2	選		選		
国際貿易論特論Ⅱ	2	選		選		
財政学特論Ⅰ	2	選		選		
財政学特論Ⅱ	2	選		選		
日本経済論特論Ⅰ	2	選		選		
日本経済論特論Ⅱ	2	選		選		

高等学校専修免許状(商業)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	高・商業	修得 年次	成績
経営戦略論特論Ⅰ	2	選		
経営戦略論特論Ⅱ	2	選		
国際経営戦略特論Ⅰ	2	選		
国際経営戦略特論Ⅱ	2	選		
人的資源管理論特論Ⅰ	2	選		
人的資源管理論特論Ⅱ	2	選		
経営史概論Ⅰ	2	選		
経営史概論Ⅱ	2	選		
会計学概論Ⅰ	2	選		
会計学概論Ⅱ	2	選		
経営統計概論Ⅰ	2	選		
経営統計概論Ⅱ	2	選		

科目名	単位	高・商業	修得 年次	成績
経営学概論Ⅰ	2	選		
経営学概論Ⅱ	2	選		
情報統計概論Ⅱ	2	選		
財務管理論特論Ⅰ	2	選		
財務管理論特論Ⅱ	2	選		
ビジネス・エコノミクス特論Ⅰ	2	選		
ビジネス・エコノミクス特論Ⅱ	2	選		
財務会計特論Ⅰ	2	選		
財務会計特論Ⅱ	2	選		
管理会計特論Ⅰ	2	選		
管理会計特論Ⅱ	2	選		

●法学研究科

中学校専修免許状(社会)

高等学校専修免許状(公民)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
憲法特論	2	選	選		
憲法人権論特論	2	選	選		
比較憲法特論	2	選	選		
行政法特論	2	選	選		
民事法特論	2	選	選		
担保法特論	2	選	選		
不動産法特論	2	選	選		
金融法特論	2	選	選		
知的財産法特論	2	選	選		
企業法特論	2	選	選		
保険法特論	2	選	選		
刑事法特論	2	選	選		
刑事訴訟法特論	2	選	選		
物件法特論	2	選	選		
民事訴訟法特論	2	選	選		
国際法総論特論	2	選	選		
国際法各論特論	2	選	選		

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
国際私法特論	2	選	選		
英米法特論	2	選	選		
環境法特論	2	選	選		
社会法特論	2	選	選		
労働法特論	2	選	選		
税法特論	2	選	選		
法人税法特論	2	選	選		
租税手続法特論	2	選	選		
租税争訟法特論	2	選	選		
法社会学特論	2	選	選		
法史学特論	2	選	選		
政治学史特論	2	選	選		
政治史特論	2	選	選		
近代政治学史特論	2	選	選		
政治学特論	2	選	選		
西洋政治史特論	2	選	選		

●文学研究科 英文学専攻

中学校専修免許状(英語)

高等学校専修免許状(英語)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 英語	高 英語	修得 年次	成績
イギリス文学特論 I	2	選	選		
イギリス文学特論 II	2	選	選		
英米文学研究法	2	選	選		
英語学研究法	2	選	選		
Academic Writing I	2	選	選		
Academic Writing II	2	選	選		
英米文学特論 I	2	選	選		
英米文学特論 II	2	選	選		
19世紀アメリカ文学特論 I	2	選	選		

科目名	単位	中 英語	高 英語	修得 年次	成績
19世紀アメリカ文学特論 II	2	選	選		
アメリカ文学特論(演劇) I	2	選	選		
アメリカ文学特論(演劇) II	2	選	選		
20世紀アメリカ文学特論 I	2	選	選		
20世紀アメリカ文学特論 II	2	選	選		
英文法・英語教育学特論 I	2	選	選		
英文法・英語教育学特論 II	2	選	選		
英語学・英語教育学特論 I	2	選	選		
英語学・英語教育学特論 II	2	選	選		

●文学研究科 社会学専攻

中学校専修免許状(社会)

高等学校専修免許状(公民)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
社会学基礎論	2	選	選		
社会学研究法	2	選	選		
グローバル・スタディーズ基礎論	2	選	選		
グローバル・スタディーズ研究法	2	選	選		
理論社会学特論Ⅰ	2	選	選		
理論社会学特論Ⅱ	2	選	選		
都市社会学特論Ⅰ	2	選	選		
都市社会学特論Ⅱ	2	選	選		
アジア社会研究Ⅰ	2	選	選		
アジア社会研究Ⅱ	2	選	選		
宗教社会学特論Ⅰ	2	選	選		
宗教社会学特論Ⅱ	2	選	選		
産業社会学特論Ⅰ	2	選	選		
産業社会学特論Ⅱ	2	選	選		
社会福祉論特論Ⅰ	2	選	選		
社会福祉論特論Ⅱ	2	選	選		
マス・コミュニケーション論特論Ⅰ	2	選	選		

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
マス・コミュニケーション論特論Ⅱ	2	選	選		
メディア社会論特論Ⅰ	2	選	選		
メディア社会論特論Ⅱ	2	選	選		
中国社会研究Ⅰ	2	選	選		
中国社会研究Ⅱ	2	選	選		
中国文化研究Ⅰ	2	選	選		
中国文化研究Ⅱ	2	選	選		
国際社会論特論Ⅰ	2	選	選		
国際社会論特論Ⅱ	2	選	選		
比較文化特論Ⅰ	2	選	選		
比較文化特論Ⅱ	2	選	選		
ロシア・ユーラシア文化研究Ⅰ	2	選	選		
ロシア・ユーラシア文化研究Ⅱ	2	選	選		
ロシア・ユーラシア社会研究Ⅰ	2	選	選		
ロシア・ユーラシア社会研究Ⅱ	2	選	選		
歴史社会学特論Ⅰ	2	選	選		
歴史社会学特論Ⅱ	2	選	選		

●文学研究科 教育学専攻

中学校専修免許状(社会)

高等学校専修免許状(公民)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
教育学研究法	2	選	選		
教育学原典購読	2	選	選		
教育学演習Ⅰa	2	選	選		
教育学演習Ⅰb	2	選	選		
教育学演習Ⅱa	2	選	選		
教育学演習Ⅱb	2	選	選		
教育学演習Ⅲa	2	選	選		
教育学演習Ⅲb	2	選	選		
教育学演習Ⅳa	2	選	選		

科目名	単位	中 社会	高 公民	修得 年次	成績
教育学演習Ⅳb	2	選	選		
教育学特論Ⅰ(教育行政学)	2	選	選		
教育学特論Ⅱ(教育行政学)	2	選	選		
教育学特論Ⅰ(比較国際教育学)	2	選	選		
教育学特論Ⅱ(比較国際教育学)	2	選	選		
教育学特論Ⅰ(学校経営学)	2	選	選		
教育学特論Ⅱ(学校経営学)	2	選	選		
教育心理学特論Ⅰ(学校心理学)	2	選	選		
教育心理学特論Ⅱ(学校心理学)	2	選	選		

小学校専修免許状

以下の表より24単位修得

科目名	単位	小	修得 年次	成績
教育学特論Ⅰ(国語教育論)	2	選		
教育学特論Ⅱ(国語教育論)	2	選		
教育学演習Ⅰa	2	選		
教育学演習Ⅰb	2	選		
教育学演習Ⅱa	2	選		
教育学演習Ⅱb	2	選		
教育学演習Ⅲa	2	選		
教育学演習Ⅲb	2	選		

科目名	単位	小	修得 年次	成績
教育学特論Ⅰ(教育工学)	2	選		
教育学特論Ⅱ(教育工学)	2	選		
教育学特論Ⅰ(教育方法学)	2	選		
教育学特論Ⅱ(教育方法学)	2	選		
教育学特論Ⅰ(算数教育論)	2	選		
教育学特論Ⅱ(算数教育論)	2	選		
教育心理学特論Ⅰ(学習教授法)	2	選		
教育心理学特論Ⅱ(学習教授法)	2	選		

● 文学研究科 人文学専攻

中学校専修免許状(社会)

高等学校専修免許状(地理歴史・公民)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 社会	高 地歴	高 公民	修得 年次	成績	科目名	単位	中 社会	高 地歴	高 公民	修得 年次	成績
歴史学研究法	2	選	選				哲学研究法	2	選		選		
東アジア仏教思想特論Ⅰ	2	選	選				科学哲学特論Ⅰ	2	選		選		
東アジア仏教思想特論Ⅱ	2	選	選				科学哲学特論Ⅱ	2	選		選		
インド仏教思想特論Ⅰ	2	選	選				人文学演習Ⅰa	2	選		選		
インド仏教思想特論Ⅱ	2	選	選				人文学演習Ⅰb	2	選		選		
日本近代史特論Ⅰ	2	選	選				人文学演習Ⅱa	2	選		選		
日本近代史特論Ⅱ	2	選	選				人文学演習Ⅱb	2	選		選		
日本中世史特論Ⅰ	2	選	選				人文学演習Ⅲa	2	選		選		
日本中世史特論Ⅱ	2	選	選				人文学演習Ⅲb	2	選		選		
東洋古代史特論Ⅰ	2	選	選				人文学演習Ⅳa	2	選		選		
東洋古代史特論Ⅱ	2	選	選				人文学演習Ⅳb	2	選		選		
西洋近世史特論Ⅰ	2	選	選				西洋哲学特論Ⅰ	2	選		選		
西洋近世史特論Ⅱ	2	選	選				西洋哲学特論Ⅱ	2	選		選		
西洋近代史特論Ⅰ	2	選	選				哲学史特論Ⅰ	2	選		選		
西洋近代史特論Ⅱ	2	選	選				哲学史特論Ⅱ	2	選		選		

● 文学研究科 国際言語教育学専攻

中学校専修免許状(国語)

高等学校専修免許状(国語)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 国語	高 国語	修得 年次	成績	科目名	単位	中 国語	高 国語	修得 年次	成績
日本語教育研究法Ⅰ	2	選	選			日本語学演習Ⅱ	2	選	選		
日本語教育研究法Ⅱ	2	選	選			日本語学演習Ⅲ	2	選	選		
言語教育政策研究	2	選	選			日本語学演習Ⅳ	2	選	選		
日本語教材研究Ⅰ	2	選	選			国語教育学演習Ⅰ	2	選	選		
日本語教材研究Ⅱ	2	選	選			国語教育学演習Ⅱ	2	選	選		
日本語語彙表現研究Ⅰ	2	選	選			国語教育学演習Ⅲ	2	選	選		
日本語語彙表現研究Ⅱ	2	選	選			国語教育学演習Ⅳ	2	選	選		
現代日本文学研究Ⅰ	2	選	選			文章表現指導法実践演習	2	選	選		
現代日本文学研究Ⅱ	2	選	選			読解指導法実践演習	2	選	選		
日本語教育学演習Ⅰ	2	選	選			日本語教授法実践演習Ⅰ	3	選	選		
日本語教育学演習Ⅱ	2	選	選			日本語教授法実践演習Ⅱ	3	選	選		
日本語教育学演習Ⅲ	2	選	選			日本語教授法実践演習Ⅲ	3	選	選		
日本語教育学演習Ⅳ	2	選	選			日本語教授法Ⅰ	2	選	選		
日本語学演習Ⅰ	2	選	選			日本語教授法Ⅱ	2	選	選		

中学校専修免許状(英語)

高等学校専修免許状(英語)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 英語	高 英語	修得 年次	成績	科目名	単位	中 英語	高 英語	修得 年次	成績
第二言語習得理論Ⅰ	2	選	選			大学院生のためのライティングスキル	2	選	選		
第二言語習得理論Ⅱ	2	選	選			英語教育実践演習Ⅰ	2	選	選		
第二言語教育の研究手法	2	選	選			英語教育実践演習Ⅱ	2	選	選		
社会言語学と教育	2	選	選			社会科学における研究プロポーザル	2	選	選		
外国語としての英語教育における言語と文化	2	選	選			英語教育研究演習	2	選	選		
学術・専門分野のための英語	2	選	選			英語指導法教材開発演習	2	選	選		
言語教育のための英文法	2	選	選			第二言語教授法Ⅰ	2	選	選		
テクノロジーと第二言語教育	2	選	選			第二言語教授法Ⅱ	2	選	選		
言語テストと評価	2	選	選			シラバス・カリキュラム作成	2	選	選		
言語教育のための発音	2	選	選								

●工学研究科 情報システム工学専攻

中学校専修免許状(数学)

高等学校専修免許状(数学)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 数学	高 数学	修得 年次	成績
アルゴリズムの設計と解析Ⅰ	2	選	選		
アルゴリズムの設計と解析Ⅱ	2	選	選		
コンピュータ数理モデルⅠ	2	選	選		
コンピュータ数理モデルⅡ	2	選	選		
知能システム基礎論Ⅰ	2	選	選		
知能システム基礎論Ⅱ	2	選	選		
システム制御論	2	選	選		
非線形システム論	2	選	選		

科目名	単位	中 数学	高 数学	修得 年次	成績
応用多変量解析Ⅰ	2	選	選		
応用多変量解析Ⅱ	2	選	選		
情報数理科学Ⅰ	2	選	選		
情報数理科学Ⅱ	2	選	選		
情報数理科学Ⅲ	2	選	選		
情報数理科学Ⅳ	2	選	選		
情報システム特別演習(数理)	4	選	選		
特別研究(数理)	10	選	選		

高等学校専修免許状(情報)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	高 情報	修得 年次	成績
先端ネットワーク論Ⅰ	2	選		
先端ネットワーク論Ⅱ	2	選		
ソフトウェア工学論	2	選		
情報通信サービスソフトウェア論	2	選		
光電子工学	2	選		
計測システム論	2	選		
ロボット工学	2	選		
可視化情報学	2	選		

科目名	単位	高 情報	修得 年次	成績
画像情報処理論	2	選		
デジタル信号解析論	2	選		
デジタルシステム設計論	2	選		
リアルタイムOS論	2	選		
コンピュータグラフィックス論	2	選		
情報システム特別演習(情報)	4	選		
特別研究(情報)	10	選		

●工学研究科 生命情報工学専攻

中学校専修免許状(理科)

高等学校専修免許状(理科)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 理科	高 理科	修得 年次	成績
機器分析特論	2	選	選		
生体高分子特論	2	選	選		
バイオナノテクノロジー	2	選	選		
糖鎖生物学	2	選	選		
代謝分子生物学	2	選	選		
ウイルス学	2	選	選		
生物電子工学特論	2	選	選		

科目名	単位	中 理科	高 理科	修得 年次	成績
生物情報計測工学	2	選	選		
脳神経科学	2	選	選		
ニューログリア概説	2	選	選		
バイオインフォマティクス特論	2	選	選		
神経病理学概論	2	選	選		
発達と学習の神経生物学	2	選	選		
生命情報工学特別演習	8	選	選		

●工学研究科 環境共生工学専攻

中学校専修免許状(理科)

高等学校専修免許状(理科)

以下の表より24単位修得

科目名	単位	中 理科	高 理科	修得 年次	成績
地球化学	2	選	選		
生物地球化学	2	選	選		
環境土壌学	2	選	選		
機器分析Ⅰ	2	選	選		
機器分析Ⅱ	2	選	選		
生態学研究法	2	選	選		
微生物生態学	2	選	選		
修復生態学	2	選	選		
環境生物学	2	選	選		
物性化学	2	選	選		

科目名	単位	中 理科	高 理科	修得 年次	成績
環境毒性学	2	選	選		
生理活性物質科学	2	選	選		
環境プロセス工学	2	選	選		
環境材料科学	2	選	選		
グリーンケミストリー	2	選	選		
資源エネルギー工学	2	選	選		
環境工学と社会	2	選	選		
技術支援工学	2	選	選		
環境共生工学特別演習	4	選	選		
環境共生工学特別実験	10	選	選		

● 教職研究科 教職専攻

小学校専修免許状

以下の表より24単位修得

科目名	単位	小	修得 年次	成績	科目名	単位	小	修得 年次	成績
学習指導要領と教科カリキュラムのデザイン	2	選			教員の服務等と教育法規	2	選		
個に応じた指導のデザイン	2	選			人間的成長に関する理論と実践	2	選		
学校カリキュラムと教育研究推進の組織化	2	選			教育実践研究方法	2	選		
教科等の指導開発研究A I (国語、社会)	2	選			学習指導の方法研究 I	2	選		
教科等の指導開発研究A II (国語、社会)	2	選			学習指導の方法研究 II	2	選		
教科等の指導開発研究B I (算数、理科)	2	選			学習活動の組織化とその評価	2	選		
教科等の指導開発研究B II (算数、理科)	2	選			授業力育成のための理論と方法	2	選		
教科等の指導開発研究C (図工、体育)	2	選			学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進 I	2	選		
教科等の指導開発研究D (生活、総合的学習、道徳)	2	選			学校・家庭・地域の連携とキャリア教育の推進 II	2	選		
教科等の指導開発研究E (外国語活動)	2	選			総合学習と社会参加学習論	2	選		
特別活動と生徒指導	2	選			人間教育実践分析研究	2	選		
学校カウンセリングの現状と課題	2	選			人間教育実践分析課題研究	2	選		
特別支援教育の現状と課題	2	選			人間教育事例分析研究	2	選		
子どもの人権を保障する学校文化の形成	2	選			人間教育事例分析課題研究	2	選		
教育行政・学校経営の現状と課題	2	選			教職課題研究 I	2	選		
学級のデザインと子ども同士の関係づくり	2	選			教職課題研究 II	2	選		
教員研修実務経験	2	選			教育課題実地研究 (国内)	2	選		
生涯学習・国際化・情報化社会における 学校と教員の役割	2	選			教育課題実地研究 (国外)	2	選		
子ども理解・保護者理解	2	選					選		

社会教育主事課程

社会教育主事は青年教育、婦人教育、成人教育などの社会教育活動について、指導・助言を行う教育専門職員です。その身分は教育公務員であり、教育委員会によって任命されます。現在、社会教育法（昭和24年公布）により、「都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事を置く」（同法第9条の2）ことになっています。また、社会教育主事の資格を有する者が、公民館、青年の家などの社会教育施設の職員として、専門的な活動を行うことも少なくありません。

社会教育主事になるためには、いくつかの基礎資格が必要です。社会教育法第9条の4第3号には、「大学に2年以上在学して、62単位以上を修得し、且つ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者」で、1年以上社会教育主事補の職にあった者とする規定が存在します。換言すれば、学士の学位をもち、大学において文部科学省令で定めた「社会教育に関する科目の単位」を修得している者は、社会教育主事補の職について1年以上経てば、社会教育主事の資格を得られるわけです。したがって、在学中にそのような科目の単位を修得しておけば、将来、社会教育の方面に進んでいく場合、きわめて有利になります。

1

社会教育主事課程について

社会教育主事課程は、1年次より各セメスターで登録できます

(1) 登録方法

- ① 4月または9月に行われる「社会教育主事課程登録ガイダンス」に必ず出席してください。
(登録時の1回のみ)
- ② ガイダンスで配布される「社会教育主事課程登録カード」に必要事項を記入してください。
- ③ パピルスメイト(証明書等自動発行機)で教職課程費分の登録申請書を購入してください。
(購入方法⇒ P5 参照)
- ④ 「社会教育主事課程登録カード」と課程費分の登録申請書を教職キャリアセンター窓口に提出して、登録手続きは完了です。

※ガイダンス欠席の場合は、登録は認められませんので注意してください。

◎ 社会教育主事課程費 (平成 27 年度)

全学科一律	15,000 円
-------	----------

本課程を修了した者には、卒業式当日に修了証を授与します

(2) 社会教育主事課程の内容

本学の社会教育主事課程は、文部科学省令による「社会教育に関する科目の単位」を修得できるように次ページ以降の表「社会教育主事課程科目一覧」のとおり開設しています。

必修、選択必修、選択科目があり、それぞれ資格取得のための最低修得科目・単位数が定められています。表にしたがって間違いのないように履修してください。

2 社会教育主事課程科目一覽

経済・法・経営・工学部

法規上の科目	社会教育主事			学 部		修得状況		
	科目名	単位	社教	時間割	開講年次	修得年次	成績	
生涯学習論	生涯学習概論	2	必	特設	1			
	社会教育概論	2	必	特設	1			
社会教育計画	社会教育計画Ⅰ	2	必	特設	2			
	社会教育計画Ⅱ	2	必	特設	2			
社会教育演習	社会教育演習	4	選必	特設	3			
社会教育実習	社会教育課題研究Ⅰ	2	選必	特設	3			
社会教育課題研究	社会教育課題研究Ⅱ	2	選必	特設	3			
社会教育特講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	それぞれ 1科目以上 計12単位以上	社会教育特講A	2	選必	特設	2	
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	2	選必	特設	3	
	博物館学総論:特設		2	選必	特設	1		
	視聴覚教育		2	選必	特設	2・3		
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		教育心理	2	選必	教職	1	
			教育社会学	2	選必	特設	2・3	
			発達心理学	2	選必	特設	3	
			児童福祉論	2	選必	特設	3	
			教育原論	2	選必	特設	1・2	
			メディア産業論	2	選必	特設	2	
コミュニケーション論	2	選必	特設	2				
修得が必要な単位数						24		

文学部

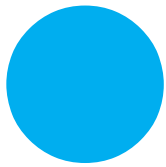
法規上の科目	社会教育主事			学 部		修得状況		
	科目名	単位	社教	時間割	開講年次	修得年次	成績	
生涯学習論	生涯学習概論	2	必	特設	1			
	社会教育概論	2	必	特設	1			
社会教育計画	社会教育計画Ⅰ	2	必	特設	2			
	社会教育計画Ⅱ	2	必	特設	2			
社会教育演習	社会教育演習	4	選必	特設	3			
社会教育実習	社会教育課題研究Ⅰ	2	選必	特設	3			
社会教育課題研究	社会教育課題研究Ⅱ	2	選必	特設	3			
社会教育特講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	それぞれ 1科目以上 計12単位以上	社会教育特講A	2	選必	特設	2	
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育特講B	2	選必	特設	3	
	博物館学総論:特設		2	選必	特設	1		
	視聴覚教育		2	選必	特設	2・3		
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		教育心理	2	選必	教職	1	
			教育の社会学	2	選必	人間	2	
			発達心理学	2	選必	特設	3	
			児童福祉論Ⅰ	2	選必	人間	3・4	
			児童福祉論Ⅱ	2	選必	人間	3・4	
			教育原論	2	選必	特設	1・2	
メディア産業の社会学Ⅰ	2	選必	人間	2				
メディアと社会心理Ⅱ	2	選必	人間	2				
修得が必要な単位数						24		

教育学部 教育学科

法規上の科目	社会教育主事			学部		修得状況		
	科目名	単位	科教	時間割	開講年次	修得年次	成績	
生涯学習論	生涯学習概論	2	必	教育	1			
	社会教育概論	2	必	教育	1			
社会教育計画	社会教育計画Ⅰ	2	必	教育	2			
	社会教育計画Ⅱ	2	必	教育	2			
社会教育演習	社会教育演習	4	選必	教育	3			
社会教育実習	社会教育課題研究Ⅰ	2	選必	教育	3			
社会教育課題研究	社会教育課題研究Ⅱ	2	選必	教育	3			
社会教育特講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	社会教育特講A	それぞれ 1科目以上 計12単位以上	2	選必	教育	2	
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	社会教育特講B		2	選必	教育	3	
		博物館学総論		2	選必	教育	1	
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	教育心理学Ⅰ		3	選必	教育	2	
		教育心理学Ⅱ		2	選必	教育	2	
		教育社会学:教育		2	選必	教育	2	
		発達心理学Ⅰ		2	選必	教育	2	
		発達心理学Ⅱ		2	選必	教育	3	
		児童福祉論		2	選必	教育	3	
		教育学概論Ⅰ		2	選必	教育	1	
		教育学概論Ⅱ		2	選必	教育	1	
	メディア産業論	2		選必	特設	2		
コミュニケーション論	2	選必	特設	2				
修得が必要な単位数				24				

教育学部 児童教育学科

法規上の科目	社会教育主事			学部		修得状況		
	科目名	単位	科教	時間割	開講年次	修得年次	成績	
生涯学習論	生涯学習概論	2	必	特設	1			
	社会教育概論	2	必	特設	1			
社会教育計画	社会教育計画Ⅰ	2	必	特設	2			
	社会教育計画Ⅱ	2	必	特設	2			
社会教育演習	社会教育演習	4	選必	特設	3			
社会教育実習	社会教育課題研究Ⅰ	2	選必	特設	3			
社会教育課題研究	社会教育課題研究Ⅱ	2	選必	特設	3			
社会教育特講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	社会教育特講A	それぞれ 1科目以上 計12単位以上	2	選必	特設	2	
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	社会教育特講B		2	選必	特設	3	
		博物館学総論:特設		2	選必	特設	1	
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	視聴覚教育		2	選必	特設	2・3	
		教育心理学:児教		2	選必	児教	3	
		教育社会学		2	選必	特設	2・3	
		発達心理学		2	選必	児教	3	
		児童福祉論Ⅰ		2	選必	特設	3	
		児童福祉論Ⅱ		2	選必	特設	3	
		初等教育原理Ⅰ		2	選必	児教	1	
		初等教育原理Ⅱ		2	選必	児教	1	
	少年非行論Ⅰ	2		選必	児教	3		
少年非行論Ⅱ	2	選必	児教	3				
メディア産業論	2	選必	特設	2				
コミュニケーション論	2	選必	特設	2				
修得が必要な単位数				24				



各種証明書の発行について

1. 特設課程に関する証明書

特設課程に関する証明書の発行は次のとおりです。

証明書の種類	手数料	発行
教員免許状取得見込証明書	200円	7日後
学力に関する証明書	200円	7日後
社会教育主事課程修了証明書	200円	2日後
社会教育主事課程単位修得証明書	200円	7日後
人物考査書	100円	7日後

※土日・祝日は、発行日数に含まれませんのでご注意ください。

2. 各種証明書の申請方法

- ① パピルスメイトで希望の証明書の申請書を購入し、教職キャリアセンター窓口で申し込んでください。
- ② 卒業後の申請についても、窓口で直接申し込む場合は、上記と同様にお願いします。なお、郵送でもお申し込みいただけます。以下の手順でお申し込みください。

1. 任意の用紙に

- ①氏名 ②在籍時の学籍番号 ③生年月日 ④用途 ⑤提出先 ⑥現住所 ⑦電話番号（平日昼間に連絡のつく連絡先） ⑧必要な証明書の種類と部数 ⑨申請する免許の校種と教科（教員免許の場合） を記入

2. 証明書発行手数料分の郵便小為替

3. 返信用封筒（長3型、切手貼付、宛先明記）

上記3点を以下の宛先まで送付してください。

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236
創価大学 教職キャリアセンター

発行は、申請書類が到着してから上表の日数を要します。

- ③電話での受付はできません（問い合わせは可）。

この「特設課程ガイド」は、**教員免許状および資格を取得するまで**必要なもので、大切に保管してください。

(2015年度入学生に適用)

連絡方法について

- 教職課程・社会教育主事課程に関する事務連絡は、**ポータルサイトの「個人宛連絡」「お知らせ」**および教職キャリアセンター掲示板のいずれかで行います。
- 教職・資格に関する連絡は、学外機関が関係しているものもあります。定期的に連絡を確認し、見落とすことのないよう、くれぐれも注意してください。
- ポータルサイトの「個人宛連絡」は、携帯電話等への転送設定ができます。下記の方法に従って必ず設定を行ってください。

ポータルサイト「個人宛連絡」の転送設定

- ①学生ポータルサイト「PLAS」にログイン
- ②「個人環境設定」をクリック
- ③「メール転送設定」にメールアドレスを入力し、「メールアドレスを登録する」をクリック

この「特設課程ガイド」は、**教員免許状および資格を取得するまで**必要なもので、大切に保管してください。

(2015 年度入学生に適用)

連絡方法について

- 教職課程・社会教育主事課程に関する事務連絡は、**ポータルサイトの個人宛連絡**および教職キャリアセンター掲示板で行います。
- 教職・資格に関する連絡は、学外機関が関係しているものもあります。定期的に連絡を確認し、見落とすことのないよう、くれぐれも注意してください。
- ポータルサイトの個人宛連絡は、携帯電話等への転送設定ができます。下記の方法に従って必ず設定を行ってください。

ポータルサイト個人宛連絡の転送設定

- ①学生ポータルサイト「PLAS」にログイン
- ②「個人環境設定」をクリック
- ③「メール転送設定」にメールアドレスを入力し、「メールアドレスを登録する」をクリック